

厚生労働科学研究費補助金

(地域医療基盤開発推進研究)

医療専門職の実態把握に関する研究

(推計班)

令和年3度 総括・分担研究報告書

研究代表者 小野 孝二

(東京医療保健大学 東が丘看護学部)

令和4(2022)年3月

目次

[令和3年報告書]

I. 総括研究報告

1. 医療専門職の実態把握に関する研究

小野 孝二

研究要旨	1-1
A. 研究目的	1-2
B. 研究方法	1-2
C. 研究結果	1-2
D. 考察	1-2
E. 結論	1-3
F. 知的財産の出願・登録状況（予定含む）	1-3
G. 研究発表	1-3
H. 知的財産の出願・登録状況（予定含む）	
1. 特許取得	
2. 実用新案登録	
3. その他	1-3

II. 分担研究報告

2. 医療関係職種の実働人数把握のための推計式構築について

～医療機関における需給推計～

小野 孝二

研究要旨	2-1
A. 研究目的	2-1
B. 研究方法	2-2
C. 研究結果	2-4
D. 考察	2-5
E. 結論	2-5
F. 知的財産の出願・登録状況（予定含む）	2-5
G. 研究発表	2-5
H. 知的財産の出願・登録状況（予定含む）	
4. 特許取得	
5. 実用新案登録	
6. その他	2-5

(参考資料①) オープンデータを用いた画像検査数の将来推計	2-6
(参考資料②) レセプト情報 (NDB オープンデータを用いた画像検査件数の将来推計)	2-8
(参考資料③) 需要推計でを使用した診療行為コード一覧 (診療放射線技師)	2-11
(参考資料④) 臨床検査技師数の推計 医療専門職の実態把握に関する研究	2-15
(参考資料⑤) 需要推計でを使用した診療行為コード一覧 (臨床検査技師)	2-16
(参考資料⑥) 臨床工学技士数の推計 医療専門職の実態把握に関する研究	2-56
(参考資料⑦) 需要推計でを使用した診療行為コード一覧 (臨床工学技士)	2-57
(参考資料⑧) 言語聴覚士の推計 医療専門職の実態把握に関する研究	2-58
(参考資料⑨) 需要推計でを使用した診療行為コード一覧 (言語聴覚士)	2-59
(参考資料⑩) 視能訓練士数の推計 医療専門職の実態把握に関する研究	2-61
(参考資料⑪) 需要推計でを使用した診療行為コード一覧 (視能訓練士)	2-62

2. 研究成果の刊行に関する一覧表

著 書	3-1
論文発表	3-1
学会発表	3-1

厚生労働行政推進調査事業費補助金
(地域医療基盤開発推進研究事業)
総括研究報告書 (令和3年度)

医療専門職の実態把握に関する研究

研究代表者	小野 孝二	(東京医療保健大学 教授)
研究分担者	今村 知明	(奈良県立医科大学 教授)
研究分担者	岡本左和子	(奈良県立医科大学 講師)
研究分担者	西岡 祐一	(奈良県立医科大学 助教)
研究協力者	森田 雅士	(奈良県立医科大学 大学院修士課程)

研究要旨

高齢化の進行および人口の減少に伴い、医療需要の変化や多様化などが認められる。これらの変化への対策として、厚生労働省においては、医師・看護師・理学療法士・作業療法士について需給分科会を設置し、全国・地域の需給の状況や人材確保等のための対策が検討されてきた。医師、歯科医師、薬剤師については、厚生労働行政の基礎資料を得ることを目的とした法に基づいた届け出（医師・歯科医師・薬剤師統計）があり、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科名（薬剤師を除く）等による分布を明らかにし、その実数を把握することができる。しかし、その他の医療関係職種については、医療施設調査に基づく医療機関で勤務している人数の推計値にとどまり、医師、歯科医師、薬剤師、看護師等以外の医療職人数や分野領域別の人数等の実態を把握することが難しい。

このため本研究では、その他の医療関係職種の実働数を把握した上で、医療施設での需給の今後の見通しを推計すること、さらに医師の働き方改革の推進にともない、医師からのタスク・シフト/シェアに資する受け手側の基礎資料の一助となる推計式の構築と資料の提案を目的とした。

研究方法は、医療関係職種（診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、言語聴覚士、視能訓練士）の各職能団体から情報提供を受け、人口動態統計における性年齢別死亡率や臨床従事割合と掛け合わせて、職種ごとに実働人数推計をした。

団塊世代が後期高齢者となり、しばらくは需要の増加は見られるが、その後団塊の世代が亡くなると人口減少や各性年齢階級の人口の総人口に占める割合が変化する（人口構成の変化）。その結果、どの職種に関しても、これらの社会傾向から医療における需要の増加は次第に抑えられ、2030年頃には現在の水準になり、その後減少傾向に転じた。

本研究により、医師以外の医療職種における需要と供給の実態把握と将来推計が可能となった。本研究の結果は、医療需要への迅速な対応、人材活用の方法や選択肢を拓けるなど様々な状況を検討するには、基本となる情報となり得る。さらに、考えられ得る状況の変化に応じ、また各職能団体が納得できる妥当性のある推計にするためには継続的な研究は必要である。

A. 研究目的

【背景】

厚生労働省が公開している医療施設静態調査は、医療施設(病院・診療所)の分布及び診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的としている。全ての医療施設を対象としているため、医療従事者数を網羅的に把握する最大のデータベースである。

医師、歯科医師、薬剤師については、厚生労働行政の基礎資料を得ることを目的として、法に基づいた届け出(三師調査)があり、性、年齢、業務の種別、医療従事場所及び診療科名等による分布を明らかにし、その実数を把握することができるようになっている。

しかし、その他の医療関係職種については法に基づいた届け出がないため、医療施設静態調査に基づく医療機関で勤務している人数の推計値にとどまり、職種人数や分野領域別人数等の実態を把握することが難しい。

また、各職能団体ごとで視ると、診療放射線技師では女性技師によるマンモグラフィ実施の状況、臨床検査技師では新型コロナウイルス蔓延への対策としてPCR検査技術者の確保、臨床工学技士では新型コロナウイルス蔓延への対策としての呼吸補助機器(ECMO)実施者の確保、言語聴覚士では難聴領域人材の確保等の受容が挙げられている。職種ごとに異なる医療需要が挙げられているものの、状況に応じた変化への検討や対策を立てるための基礎資料がない。

【目的】

本研究の目的は、すでに基礎資料がある医師・薬剤師・看護師・理学療法士・作業療法士以外の医療職種について、

- 働き方改革を推進する上で、医師からのタスク・シフト/シェアの推進に資する基礎資料としての実働人数の現在と将来の需給関係の推計とその推計式の構築である。
- 上記の目的のために、
 - ・ 実働人数などの把握のための推計式構築
 - ・ 医療機関での需給推計による今後の見通しを提示すること

である。

対象医療職種は以下の通りである。

(1) 実態把握職種及び需要供給項目

①診療放射線技師

- ・ 職種内分野領域別の供給推計(X線、CT、MRI、超音波、マンモグラフィ、その他等)
- ・ タスク・シフト/シェアの受け側としての潜在許容推計

②臨床検査技師

- ・ 職種内分野領域別の供給推計(生理学的検査、検体検査、微生物学的検査、病理学的検査、遺伝子検査、その他等)
- ・ タスク・シフト/シェア受け側としての潜在許容推計

③臨床工学技士

- ・ 職種内分野領域別の供給推計(器具保守管理、呼吸、代謝、循環、その他等)
- ・ タスク・シフト/シェア受け側としての潜在許容推計

④言語聴覚士

- ・ 職種内分野領域別の供給推計(摂食・嚥下、成人言語・認知、発声・発語、聴覚、その他等)
- ・ タスク・シフト/シェア受け側としての潜在許容推計

⑤視能訓練士

- ・ 職種内分野領域別の供給推計
- ・ タスク・シフト/シェア受け側としての潜在許容推計

B. 研究方法

本研究対象である医療関連職種(診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、言語聴覚士、視能訓練士)の各職能団体から情報提供を受け、性年齢階級別の診療従事割合や新卒者数等による供給推計を用いて多角的側面から求めることとした。

C. 研究結果

各職種とも、養成学校の定員を増加してきており、供給は増加する傾向にあった。一方で、人口構成の変化から需要の増加は次第に抑えられ、2030年頃から減少傾向に転じた。

D. 考察

継続して推計の精緻化は必要であるが、これまで明らかになっていなかった医療関係職種の実働

人数の推計が可能となった。医療関連職種は養成定員が増加または現在と同じ水準が続くが、医療における需要は人口構成の変化から影響を大きく受けることが明らかとなった。

本研究によって、推計計算式が確立でき、その需要と供給の両側面から考察した将来推計が可能となった。医療関係職種における実態把握と、医療行政に対しては医療需要への迅速な対応や人材活用の方法などの検討に寄与できると考える。

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし

E. 結論

医療需要については人口構成の影響を大きく受けるため、全体として 2030 年度から減少することが予測される。一方、医療関係職種の今後の供給状況は、各職種の教育機関や養成数は増加している。本研究により具体的な需要と供給の推計が実施でき、各職能団体の人材活用の方法や選択肢を広げる検討に活用できると考えられる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
 1. 森田雅士、西岡祐一、岡本左和子、小野孝二、今村知明 オープンデータを用いた画像検査数の将来推計—タスクシフト・シェアを見据えて 第 80 回日本公衆衛生学会 2021 年 12 月
 2. 森田雅士、西岡祐一、岡本左和子、小野孝二、今村知明 レセプト情報 NDB オープンデータを用いた画像検査数の将来推計 第 36 回日本診療放射線技師学術大会 2021 年 11 月

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む）

医療関係職種の実働人数把握のための推計式構築について ～医療機関における需給推計～

研究代表者	小野 孝二	(東京医療保健大学 教授)
研究分担者	西岡 祐一	(奈良県立医科大学 助教)
研究分担者	今村 知明	(奈良県立医科大学 教授)
研究分担者	岡本左和子	(奈良県立医科大学 講師)
研究協力者	森田 雅士	(奈良県立医科大学 大学院修士課程)

研究要旨

医師の働き方改革に伴い、各医療関係職種へのタスク・シフト/シェアが推奨されており、2020年には「現行制度上実施可能な業務」の内「特に推進する44業務」が発出された。これに伴い、医療機関においては医師から各医療関係職種へのタスク・シフト/シェアが進められている。しかし、タスク・シフトを受容する側のキャパシティについては、現在および将来にわたって推計できるツールが確立されていない。本研究では、医療関係職種の実働人数を把握するために、推計式の構築と医療機関での需要と医療関係職種の供給の今後の見通しを提示することを目的とした。これらの推計が確立することで、医療機関における人材確保や管理体制のシミュレーションが可能になり、費用と実務面で無駄を省くことができるのではないかと考える。

A. 研究目的

- ・ 実働人数などの把握のための推計式構築
- ・ 医療機関での需給推計による今後の見通しを提示すること

- ・ 性年齢階級別の現在医療に従事している者の割合
- ・ 性年齢階級別の医療従事場所(病院・診療所等)の割合

B. 研究方法

各職能団体の会員数や資格試験の合格者数などに人口動態統計における性年齢別死亡率と掛け合わせることで、職種ごとの実際に医療に従事している人数についての推計を実施した。これらの医療職種からの情報提供資料及び推計方法については以下の通りとした。

(1) 医療関係職種からの情報提供資料

①診療放射線技師

(情報提供元)

公益社団法人 日本診療放射線技師会

(情報提供データ)

- ・ 免許発行者の性年齢分布

②臨床検査技師

(情報提供元)

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

(情報提供データ)

- ・ 会員における免許取得状況
- ・ 会員における性年齢分布

③臨床工学技士

(情報提供元)

公益社団法人 日本臨床工学技士会

(情報提供データ)

- ・ 会員における性年齢分布

④言語聴覚士

(情報提供元)

一般社団法人 日本言語聴覚士協会
(情報提供データ)

- ・ 会員における性年齢分布

⑤視能訓練士
(情報提供元)

公益社団法人 日本視能訓練士協会
(情報提供データ)

- ・ 会員における受験者数・合格者数・合格率

(2) 推計方法

①免許取得者の性年齢分布

I. 将来の職種関連検査件数の推計

リアルワールドデータである厚生労働省のレセプト情報・特定健診等情報データベース(National Data Base、以下NDBという)のオープンデータを用いた。NDBは、高齢者の医療確保に関する法律に基づき、厚生労働省が匿名化されたレセプト情報および特定健康診査・特定保健指導情報を全国の医療機関などから収集し、構築したビッグ・データであり、近年では国民皆保険制度を有する日本の保険診療の悉皆調査に利用されている。毎年厚生労働省からNDBオープンデータとしてNDBの集計値が公表されており、レセプト情報を元にした診療行為別の算定回数を5歳刻み(年齢5階級別)で集計することができる。本研究では入院検査件数と外来検査件数の総数を年間の検査件数とした。

本研究では各職能団体の協力を得て、職種ごとに対象とする診療行為コードを抽出し、これらを使って、職種ごとに関連する診療行為コードの算定回数を性年齢階級別に算出した。

さらに総務省統計局の年齢5階級別人口データを利用して除することで、男女別に5歳刻みの一人当たりの年間検査件数を求めた。簡易生命表の死亡率、人口動態統計の出生数がともに一定で推移し、かつ日本国内外の人口の流出入がないことを仮定し、男女別に1才刻みで下式にて将来の人口推計を行った。

$$\{(n+1)\text{年の}(m+1)\text{歳の人口}\} = (n\text{年の}m\text{歳の人口}) \times \{1 - (m\text{歳の死亡率})\}$$

ただし、

$$\{(n+1)\text{年の}100\text{歳以上の人口}\} = (n\text{年の}100\text{歳以上の人口}) \times \{1 - (100\text{歳以上の死亡率の平均})\}$$

1才刻みで行った将来の人口推計を、NDBオープンデータと階級を合わせて計算した。その後、一人当たりの年間検査件数とこの人口推計を掛け合わせることで、男女別年齢階級別の年間画像検査件数の将来推計を実施した。

II. 供給(医療従事者数)の推計

各職種の将来の供給推計については、免許取得者の中で臨床に従事している就業者数の推計を実施した。

この就業者数を求める方法として、厚生労働省の本年度と過去の国家試験合格者数を元に免許取得者数を整理し、性年齢別の新規免許取得者数として使用した。また、各職能団体の協力を得て、免許取得年ごとの性年齢分布を推定した。

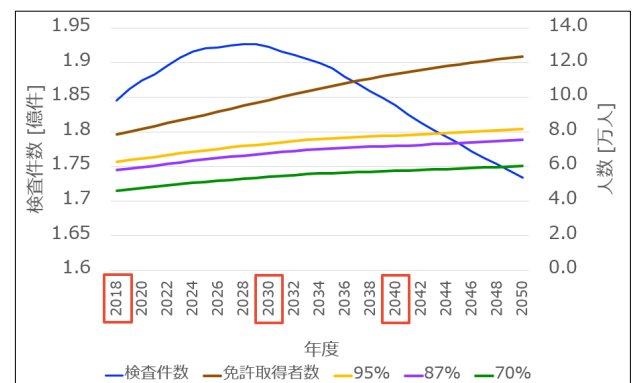
推計式を使った計算では、簡易生命表の死亡率、新規免許取得者数、新規免許取得者の性年齢別の割合、新規就業者数が最新データから一定で推移すると仮定した。また、就業割合については各職能団体の協力を得て離職率や定年等も踏まえて性年齢別に数値を仮定した。これらの推計では、現状の免許発行数と死亡率が続くという過程の下で、就業者数の将来にわたる推計を実施した。

D. 研究結果

各職種とも、養成学校の定員を増加してきており、供給は増加する傾向にあった。一方で、人口構成の変化から需要の増加は次第に抑えられ、2030年頃から減少傾向に転じた。職種ごとの結果については以下の通りとなった。

(1) 診療放射線技師

診療放射線技師数については、画像検査件数及び臨床従事者数の集計を行った。画像検査件数については、検査ごとに業務に関する重み付

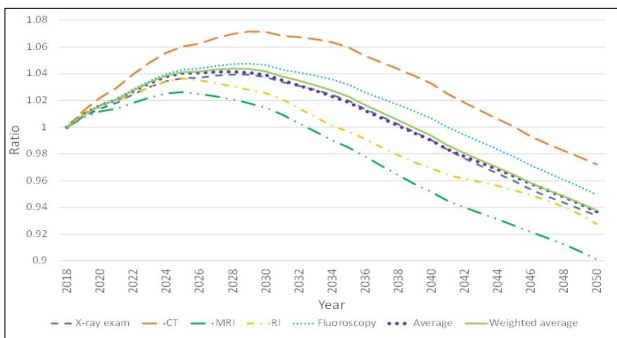


(図1) 診療放射線技師数推計

けをして推計を行った。(図1)

今回用いた各モダリティの係数は、臨床現場の技師複数名に聞き取りを行った値の平均値を採用した。重みづけについては、単純撮影系=1、CT=3、MRI=5、RI=4、透視検査系=8とした。

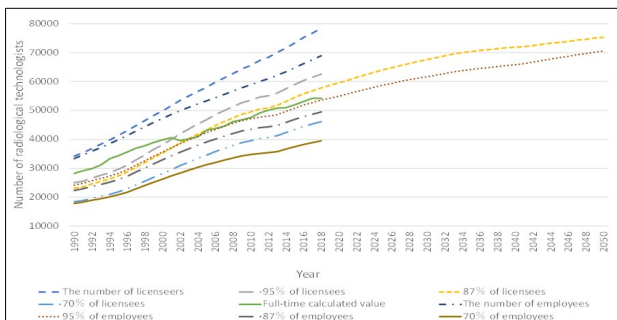
モダリティ別に2018年を基準として画像検査件数の比較をすると、2030年は、単純撮影系1.04、CT1.07、MRI1.01、RI1.03、透視検査系1.05、平均1.04であった。2040年は、単純撮影系0.99、CT1.03、MRI0.95、RI0.97、透視検査系1.01、平均0.99であった。同様に2050年は、単純撮影系0.93、CT0.97、MRI0.90、RI0.93、透視検査系0.95、平均0.94であった。さらに業務量の予測は、2018年を基準としてモダリティ別に係数を設けて加重平均を求めたが、係数なしの画像検査件数と同様の推移を示した。(図2)



(図2) モダリティ別業務量予測

供給(診療放射線技師数)の推計については、医療施設静態調査を元にした過去の就業者数と全てのシナリオを想定して設定した。過去の就業者数の推移と似た結果となったのは、免許取得者数-就業割合87%と就業者数-就業割合95%の2つであったことから、95%、87%、70%の三つのシナリオを想定し推計を行った。

結果は、2030年にピークを迎え、その後は減少傾向に転じた。一方、免許保有者数について



(図3) 就業者数シナリオ数

は増加し続けていく結果であった。(図3)

なお、今回放射線治療部門、超音波、マンモグラフィについては推計を行っていない。放射線治療については、大部分が大学病院等の基幹病院で実施されているおり、品質管理等の業務が存在するためレセプトの件数以上に業務量が多いことが推測される。各医療機関によってもばらつきが大きいと、これらをその他の画像検査と同様に推計式に当てはめるためには何らかの工夫が必要であると考えられた。よって、今回は推計式から除外した。

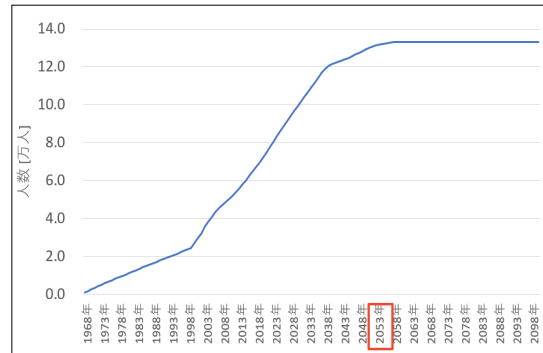
超音波は、診療放射線技師以外の職種についても業務を行っていることからさらなる調査が必要である。

マンモグラフィについては、健診における業務数と病院における業務数があり、NDBは健診業務数を把握することができないため推計を行わなかった。

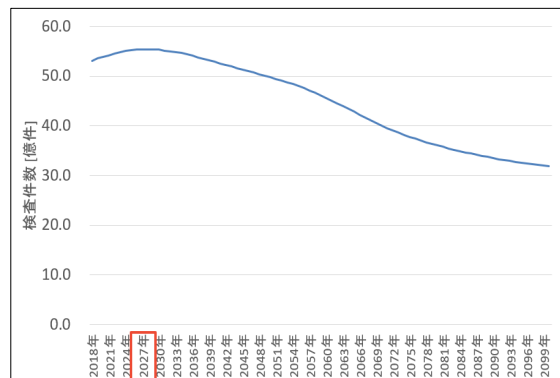
(2) 臨床検査技師

供給(臨床検査技師数)の推計、および臨床検査技師が関連する検査項目の推計を作成した。

免許保取得者数については、2053年には一定数となり、関連検査件数については2027年をピークに減少傾向となる推計となった。(図4)(図5)



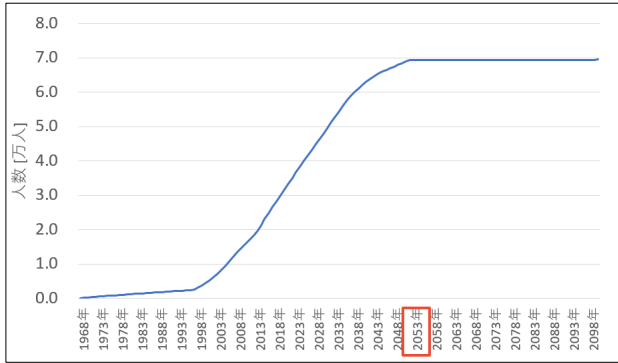
(図4) 臨床検査技師数推計(供給)



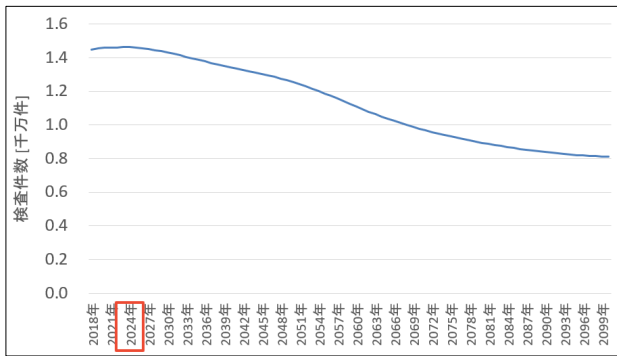
(図5) 臨床検査技師数関連検査件数(需)

(3) 臨床工学技士

臨床工学技士数の供給の推計、及び、臨床工学技士が関連する検査項目の推計を作成した。免許保有者数については、2053年まで増加し続けるが、関連検査件数（内視鏡検査のみ）については2024年をピークに減少傾向となる推計となった。（図6）（図7）



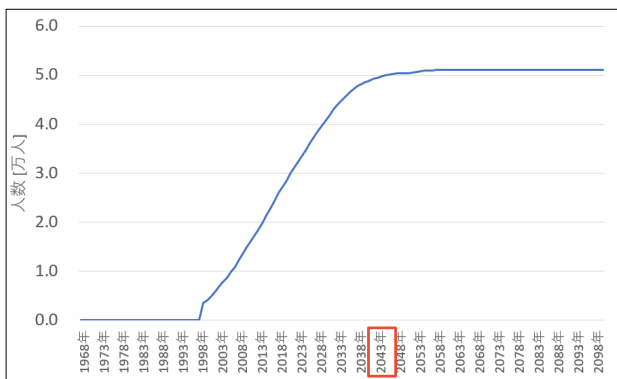
(図6) 臨床工学技士数推計 (供給)



(図7) 臨床工学技士関連検査件数 (内視鏡検査のみ) (需要)

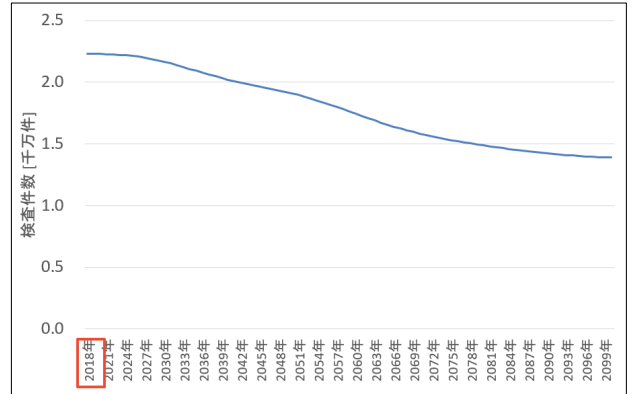
(4) 言語聴覚士

供給（言語聴覚士数）の推計、及び、言語聴覚士が関連する検査項目の推計を作成した。（図8）免許保有者数については、2043年には



(図8) 言語聴覚士数推計 (供給)

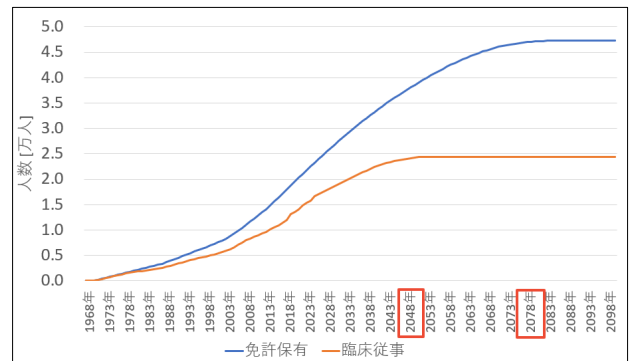
一定数となり、関連検査件数については2018年をピークに減少傾向となる推計となった。（図9）



(図9) 言語聴覚士関連検査件数 (需要)

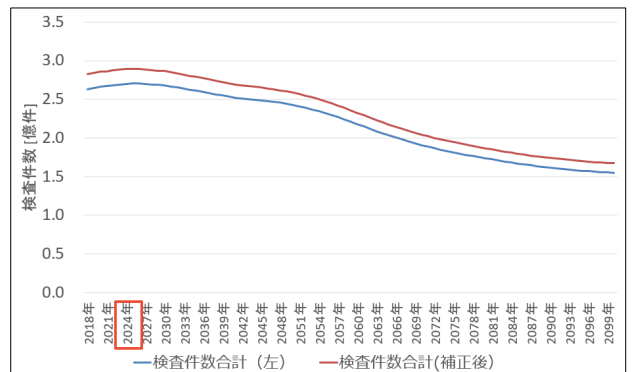
(5) 視能訓練士

供給（視能訓練士数）の推計、及び、視能訓練士が関連する検査項目の推計を作成した。免許保有者数については、2078年には一定数となり、臨床従事者数については2048年に一定数となる。（図10）



(図10) 視能訓練士数推計 (供給)

関連検査件数については2024年をピークに減少傾向となる推計となった。（図11）



(図11) 視能訓練士関連検査件数 (需要)

D. 考察

本研究により、医療関係職種における実態把握とその需要と供給の両側面から考察した将来推計が可能となった。医療行政として医療需要への迅速な対応を行うにあたり、人材活用の方法や選択肢を広げる検討を進めることができる情報と位置付けられる。

また、本研究は各職種が働いている領域毎の人数や、性、年齢分布等を用いて職種内分野別の供給推計を行った。そのため、関連団体からも要点となる情報を得つつ今後予測される事象も加味し、かつ職種ごとの実情を考え得る範囲で網羅し、推計式の構築を進めた。医師のタスク・シフト/シェアをはじめとする医療行政での基礎資料となると考える。

さらに、資格取得をしているものの医療機関に従事していない人数を推計することができ、働き方改革を推進する上で医師からのタスク・シフト/シェアの受け手としての潜在的な許容人材を把握する基礎資料として、凡庸性の高い情報となることが期待される。

本年度においては、推計式を構築し、各職能団体との話し合いの上で、より現場に則した結果を示せるようにするという目標は達成でき、現状の人材需要と供給の関係を示すことができた。

一方で、診療放射線技師以外の職種については、業務の事情から重みづけ係数を抽出することに時間がかかり、本年度内に推計を行うことができなかった。診療放射線技師以外の職種については、継続して各職種の業務の整理とそこから重みづけ係数を抽出できるようにする予定である。このことにより次年度以降については、今年度、重みづけを付して推計ができなかった関係団体の協力を得たうえで、ヒアリングを行い、現場に則した需給推計を実施する予定である。

E. 結論

医療関係職種の今後の供給状況は、各職種の養成数の増加に伴い増加していくと考えられた。一方、需要については人口構成の影響を大きく受けるため、全体として 2030 年度から減少することが予測される。本研究により具体的な需要と供給の推計が実施でき、各職能団体の人材活用の方法や選択肢を広げる検討に活用できると考えられる。需要については、職種ごとに、どの検査件数の推計を用いるかで需要の

増減は変化するため、各職種とのヒアリングによる調整は必要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 森田雅士, 西岡祐一, 岡本左和子, 小野孝二, 今村知明 タスク・シフトを見据えた診療放射線技師の需給推計 第 80 回 日本公衆衛生学会. 2021 年 12 月
2. 森田雅士, 西岡祐一, 岡本左和子, 小野孝二, 今村知明 レセプト情報 (NDB オープンデータ) を用いた画像検査件数の将来推計 第 37 回日本診療放射線技術学会大会. 2021 年 11 月
3. 森田雅士, 西岡祐一, 岡本左和子, 小野孝二, 今村知明 NDB オープンデータを用いた画像検査数の将来推計-タスクシフト・シェアを見据えて-. 第 79 回日本公衆衛生学会総会 2020 年 10 月

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 該当なし
2. 実用新案登録 該当なし
3. その他 該当なし

(参考資料①)

オープンデータを用いた画像検査数の将来推計

演題番号O-1-2-2NDB
**オープンデータを用いた
 画像検査数の将来推計**
 -タスクシフト・シェアを見据えて-

森田雅士¹⁾²⁾ 西岡祐一¹⁾³⁾ 岡本左和子¹⁾ 小野孝二⁴⁾ 今村知明¹⁾
 1)奈良県立医科大学 公衆衛生学講座
 2)大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 放射線科
 3)奈良県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌内科
 4)東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科/大学院 看護研究科

方法 画像検査件数からの診療放射線技師の需要推計

一人当たりの画像検査件数

×

性年齢別人口の将来推計

総務省統計局「年齢各階級人口」および厚生労働省「簡易生命表」死亡率から算出

※ 死亡率・出生数 2018年より一定(仮定)
 ※ 国内外の人口流入出なし(仮定)
 ※ 各データ 2018年度使用

**日本公衆衛生学会
 COI 開示**

発表者名：森田雅士，西岡祐一，岡本左和子，
 小野孝二，今村知明

演題発表に関連し，発表者らに開示すべき
 COI関係にある企業などはありません。

方法 一人当たりの画像検査件数 (需要)

=

$\frac{\text{画像診断 性年齢階級別算定回数}}{\text{厚生労働省 「NDBオープンデータ」}} \times \text{総務省統計局 「年齢階級別人口」}$

※ 年齢階級は0-4歳，5-9歳，... の5歳刻み
 ※ 各データ 2018年度使用

背景

- 医師の労働時間超過は大きな社会的な課題
- 2015年の法令改正に伴い診療放射線技師の業務は拡大
- 臨床現場における診療放射線技師の業務拡大は日常業務の多忙等もあり進んでいない状況

方法 診療放射線技師の従事者数の推計 (供給)

$\frac{\text{国家試験合格者数 (免許取得者数)}}{\text{診療放射線技師の性年齢別割合}} \times \text{厚生労働省のデータ使用}$

日本診療放射線技師会 会誌3年分データからの性年齢分布を分析

×

$\frac{\text{死亡率}}{\text{臨床従事継続割合}}$

厚生労働省 簡易生命表 生存率から算出

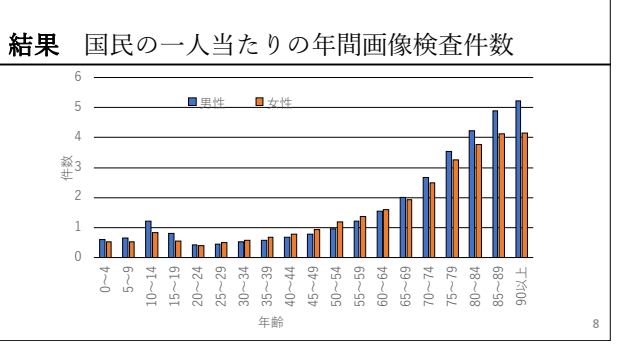
95%、87%、70%の三つのシナリオを想定

※ 新規免許取得者数 2020年より一定
 ※ 性年齢別割合 2020年より一定
 ※ 定年退職 60歳

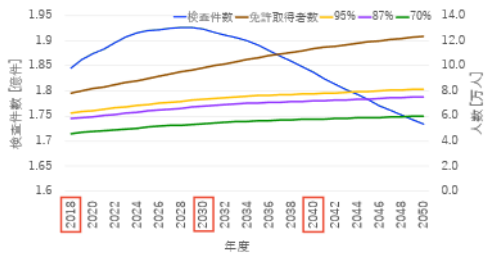
目的・方法

目的
 本研究では、診療放射線技師の将来の **需要と供給の推計**を図る手法を確立し、医師の働き改革に伴うタスク・シフト /シェアの可能性について考察する。

方法
 厚生労働省のレセプト情報・特定健診等情報データベース NDB (National Database) オープンデータの画像検査件数を基に各種パラメータを考慮し推計する。



結果 画像検査件数と臨床従事者数の推移



9

研究助成

本研究は

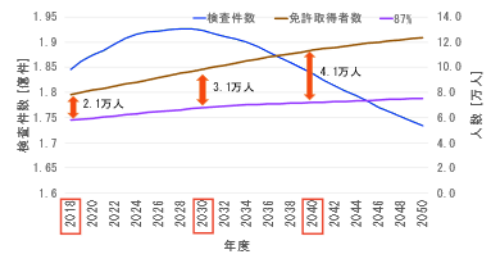
令和3年度 厚生労働行政推進調査事業補助金
(政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業))
「新しいチーム医療等における医療・介護従事者の適切な役割分担についての研究」
(研究代表者: 今村知明)

令和3年度 厚生労働行政推進調査事業補助金
(地域医療基盤開発推進研究事業 (指定型))
「医療専門職の実態把握に関する研究」
(研究代表者: 小野孝二)

の一環として実施したものである。

13

結果 免許取得者数と臨床従事者数の推移



10

考察

- NDBからの画像検査件数の将来予測から診療放射線技師の需要と供給の推計から、業務拡大できる可能性が示唆された。
- 今後は、モダリティ別 (単純撮影, RI, CT, MRI, 放射線治療 等) の業務量も考慮し、診療放射線技師の需要と供給の推計の精度の向上を図る必要がある。

11

まとめ

- 放射線診療領域の画像検査件数の推移は2030年までは増加傾向にあり、それ以降は減少に転じると予想。
- 診療放射線技師の免許取得者数は年々増加傾向にあり、画像検査件数の推移予測から業務拡大しない限り過剰となる見込みと示唆された。

12

(参考資料②)

レセプト情報(NDB オープンデータを用いた画像検査件数の将来推計)

演題番号358

**レセプト情報NDBオープンデータを用いた
画像検査件数の将来推計**

森田雅士¹⁾²⁾ 西岡祐²⁾³⁾ 岡本左和子³⁾ 小野孝³⁾ 今村知明⁴⁾

1)大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター放射線科
2)奈良県立医科大学 公衆衛生学講座
3)奈良県立医科大学附属病院 糖尿病・内分泌内科
4)東京医療保健大学 東が丘看護学部 看護学科大学院 看護研究科

研究の流れ

過去の画像検査件数の推移を分析
(資料:社会医療診療行為別統計)

↓

将来の画像検査件数の推計
(資料:NDBオープンデータ)

↓

将来の**業務量予測**

↓

目的：今後の診療放射線技師の需要を考察

**日本診療放射線技師学会
COI 開示**

大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター: 森田 雅士

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業等はありません。

方法 将来の画像検査件数の推計

一人当たりの
年間画像検査件数 × 人口推計

厚生労働省「NDBオープンデータ」
総務省統計局「年齢階級別人口」
※年齢階級は0-4歳, 5-9歳, . . .
の5歳刻み
※各データは2018年度(最新)で統一

総務省統計局「年齢各歳別人口」
と
厚生労働省「簡易生命表」死亡率から算出
※2018年~2050年までを推計

「NDBオープンデータ」
医科診療報酬点数票項目等を対象とし、レセプト情報を元にした
年間の画像検査の年齢別算定回数を記載した資料

背景

2015年 診療放射線技師法改正に伴い **業務が拡大**

2021年 医療法等の一部を改正する法律が公布
=有資格者の **告示研修を伴う業務拡大** が決定

以上の業務拡大により、
診療放射線技師の業務量が増加

タスクシフトが進まない理由の一つは
診療放射線技師の **業務量増加** や増加した業務に
対応する診療放射線技師の **人数不足** の可能性

方法 モダリティ別業務量予測

係数を用いて画像検査件数を業務量に変換

モダリティ	係数
単純撮影系	1
CT	3
MRI	5
RI	4
透視検査系	8

表1 モダリティ別業務量係数

結果 過去の画像検査件数の推移(相対値)

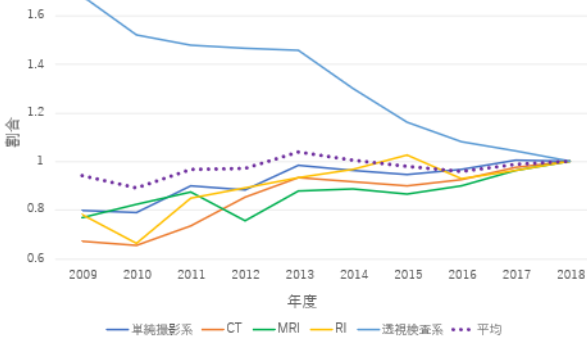


図1 画像検査件数増減推移

8

考察

画像検査件数は2028年ピーク。その後、減少する推計

- 業務拡大による増加業務に対応可能な時期を予測
- それに備えてタスクシフトの体制を整える必要性

モダリティ別加重平均を用いた業務量予測

- 業務量自体はモダリティに依存せず、検査件数とほぼ同じ傾向
- 加重係数を変更することであらゆる医療情勢の変化にも対応可能

11

結果 将来の画像検査件数の推計

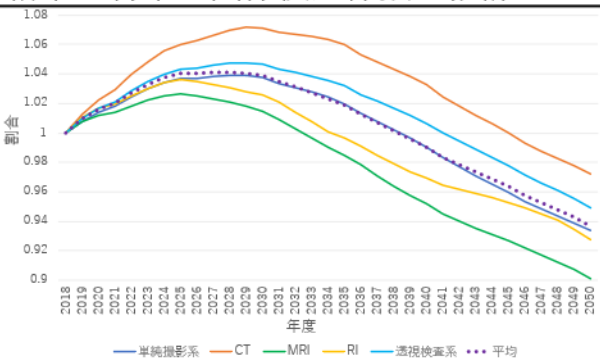


図2 画像検査件数の将来推計

9

強み

レセプト情報であるNDBオープンデータを使用

- 保険診療を受けた患者の **全数調査**

画像検査件数の推計を実施

- 保険診療にて実施された全画像検査件数が対象

モダリティ別の加重平均を用いた

- 画像検査種別ごとの **業務量の予測**が可能

12

結果 画像検査将来業務量予測

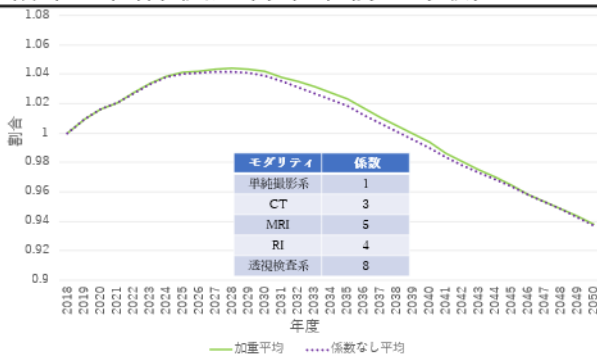


図3 画像検査将来業務量予測

10

限界

レセプト情報項目以上の細分類化は不可能

- 撮影の部位や病棟撮影、手術室撮影の区別が困難

生活保護など公費負担の患者情報や人間ドッグなどの
検診事業を反映不可能

診療報酬改定による影響

13

今後の展望

画像検査以外の業務量予測

→放射線治療や手術等支援画像作成などの業務量

将来の診療放射線技師の需給推計

→需要 + 供給

多職種の需給推計と比較

→更なるタスクシフトやチーム医療の加速が目標

14

抄録

- [目的]医師の働き方改革に伴って、診療放射線技師へのタスクシフトが増加している。増大した業務を供給できるかは、将来的な技師数の推移や増大前から請け負っている業務量の推移が鍵となる。本研究では業務量の予測として画像検査件数に着目して推計を行った。
- [方法]レセプト情報・特定検診等情報データベース（NDB）オープンデータによる検査件数を人口で除することで年齢階級別に1人当たりの検査件数を求めた。その上で、死亡率が一定と仮定して人口推計を行い、検査件数の将来推計を実施した。
- [結果]検査件数は今後も漸増し、2029年の約1.93億件でピークを迎える。以後、2041年に2018年と同等の約1.84億件まで漸減し、その後も減少を続ける。
- [結論]急速に増加し続けてきた検査件数は2029年から減少に転じることが示唆された。将来的な技師数の推移も考慮しつつ、本研究結果を踏まえてタスクシフトを考える必要がある。

17

結語

本研究から、現在まで診療放射線技師の業務が増加し続けており労働負荷が増していたが、画像検査件数の頂点が2028年頃との推計結果を得た

将来的な技師数の推移も考慮しつつ、将来の画像検査件数の推移を踏まえてタスクシフト・シェアを推進すべき

15

謝辞

本研究は

令和3年度 厚生労働行政推進調査事業補助金
(政策科学総合研究事業(政策科学推進研究事業))
「新しいチーム医療等における医療・介護従事者の適切な役割分担についての研究」
(研究代表者：今村知明)

令和3年度 厚生労働行政推進調査事業補助金
(地域医療基盤開発推進研究事業(指定型))
「医療専門職の実態把握に関する研究」
(研究代表者：小野孝二)

の一環として実施したものである。

16

(参考資料③)

需要推計で使用した診療行為コード一覧 (診療放射線技師)

診療行為コード	診療行為 X-ray exam	点数
170001910	単純撮影 (アナログ撮影)	60
170002010	特殊撮影 (一連につき) (アナログ撮影)	260
170002410	単純間接撮影 (アナログ撮影)	30
170005530	特殊撮影 (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	356
170005630	特殊撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	308
170006530	パントモグラフィ (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	356
170007030	断層撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	308
170007530	スポット撮影 (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	356
170007630	スポット撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	308
170008430	児頭骨盤不均衡特殊撮影 (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	356
170008530	児頭骨盤不均衡特殊撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (アナログ撮影)	308
170011650	エックス線フィルムサブトラクション (一連につき) (アナログ撮影)	60
170012710	胆管・膵管造影 (胃・十二指腸ファイバースコープ) (一連につき) (画像診断)	##
170019430	特殊撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (3歳未満の乳幼児) (アナログ撮影)	438
170027010	乳房撮影 (一連につき) (アナログ撮影)	192
170027910	単純撮影 (デジタル撮影)	68
170028010	特殊撮影 (一連につき) (デジタル撮影)	270
170028210	乳房撮影 (一連につき) (デジタル撮影)	202
170028310	単純間接撮影 (デジタル撮影)	34
170028930	特殊撮影 (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170029030	特殊撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	318
170029130	パントモグラフィ (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170029230	パントモグラフィ (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	318
170029330	断層撮影 (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170029430	断層撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	318
170029730	回転横断撮影 (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170030130	側頭骨曲面断層撮影 (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170030230	上顎骨曲面断層撮影 (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170030330	副鼻腔曲面断層撮影 (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170030430	児頭骨盤不均衡特殊撮影 (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	366
170030530	児頭骨盤不均衡特殊撮影 (他方と同時併施) (診断・撮影) (一連につき) (デジタル撮影)	318

170030930	特殊撮影（他方と同時併施）（診断・撮影）（一連につき）（新生児）（デジタル撮影）	534
170031030	特殊撮影（他方と同時併施）（診断・撮影）（一連につき）（3歳未満の乳幼児）（デジタル撮影）	453
170031750	エックス線フィルムサブトラクション（一連につき）（デジタル撮影）	68
170032050	単純撮影（デジタルと同時撮影）（アナログ撮影）	30
170035330	特殊撮影（診断・撮影）（一連につき）（3歳以上6歳未満の幼児）（デジタル撮影）	447
170035530	特殊撮影（他方と同時併施）（診断・撮影）（一連につき）（3歳以上6歳未満の幼児）（デジタル撮影）	399
170029530	同時多層撮影（診断・撮影）（一連につき）（デジタル撮影）	366
170030830	特殊撮影（診断・撮影）（一連につき）（3歳未満の乳幼児）（デジタル撮影）	501
170032150	単純撮影（アナログと同時撮影）（デジタル撮影）	34

診療行為コード	診療行為 CT	点数
170011710	C T 撮影（イ、ロ又はハ以外の場合）（一連につき）	560
170011810	C T 撮影（16列以上64列未満のマルチスライス型の機器による場合）（一連につき）	900
170012110	脳槽C T 撮影（造影を含む。）（一連につき）	2300
170028610	C T 撮影（4列以上16列未満のマルチスライス型の機器による場合）（一連につき）	750
170033410	C T 撮影（64列以上のマルチスライス型の機器）（その他の場合）（一連につき）	1000
170034910	C T 撮影（64列以上のマルチスライス型の機器）（共同利用施設において行われる場合）（一連につき）	1020
170016210	非放射性キセノン脳血流動態検査	2000

診療行為コード	診療行為 MRI	点数
170015210	磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）（1又は2以外の場合）（一連につき）	900
170020110	磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）（1.5テスラ以上3テスラ未満の機器による場合）（一連につき）	1330
170033510	磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）（3テスラ以上の機器）（その他の場合）（一連につき）	1600
170035010	磁気共鳴コンピューター断層撮影（MRI撮影）（3テスラ以上の機器）（共同利用施設において行われる場合）（一連につき）	1620
170015410	コンピューター断層診断	450
170036950	コンピューター断層診断（FFRCT解析結果による診断）	9850

診療行為コード	診療行為 RI	点数
170024510	シンチグラム（部分）（静態）（一連につき）	1300

170024610	シンチグラム（部分）（動態）（一連につき）	1800
170024710	シンチグラム（全身）（一連につき）	2200
170015010	シングルホトンエミッションコンピューター断層撮影（同一のラジオアイソトープを用いた一連の検査につき）	1800
170020610	ポジトロン断層撮影（15O標識ガス剤を用いた場合）（一連の検査につき）	7000
170024810	ポジトロン断層撮影（18FDGを用いた場合）（一連の検査につき）	7500
170033210	ポジトロン断層撮影（13N標識アンモニア剤を用いた場合）（一連の検査につき）	9000
170027210	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（15O標識ガス剤を用いた場合）（一連の検査につき）	7625
170027310	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（18FDGを用いた場合）（一連の検査につき）	8625
170033750	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影（18FDGを用いた場合）（一連の検査につき）	9160
170033850	乳房用ポジトロン断層撮影	4000
170015310	核医学診断（それ以外の場合）	370
170033310	核医学診断（E101-2～E101-5に掲げる撮影の場合）	450

診療行為コード	診療行為 Fluoroscopy	点数
170002310	心臓及び冠動脈造影（右心カテーテル）（一連につき）	3600
170020710	心臓及び冠動脈造影（左心カテーテル）（一連につき）	4000
170002510	造影剤使用間接撮影（アナログ撮影）	72
170002110	造影剤使用撮影（アナログ撮影）	144
170028410	造影剤使用間接撮影（デジタル撮影）	77
170028110	造影剤使用撮影（デジタル撮影）	154
170032250	造影剤使用撮影（デジタルと同時撮影）（アナログ撮影）	72
170032350	造影剤使用撮影（アナログと同時撮影）（デジタル撮影）	77
170029930	スポット撮影（診断・撮影）（一連につき）（デジタル撮影）	366
170030030	スポット撮影（他方と同時併施）（診断・撮影）（一連につき）（デジタル撮影）	318
170031850	椎間板造影（撮影）（デジタル撮影）	154
170031950	高速心大血管連続撮影装置による撮影（撮影）（デジタル撮影）	154
170021150	椎間板造影（撮影）（アナログ撮影）	144
170000310	透視診断	110
170012210	造影剤注入手技（動脈造影カテーテル法）（イ以外の場合）	1180
170012410	造影剤注入手技（静脈造影カテーテル法）	3600
170012610	造影剤注入手技（気管支ファイバースコープ挿入）	2500
170012810	造影剤注入手技（尿管カテーテル法（両側））	1200

170012910	造影剤注入手技（腔内注入及び穿刺注入）（注腸）	300
170013010	造影剤注入手技（腔内注入及び穿刺注入）（その他）	120
170013150	造影剤注入手技（腰椎穿刺注入）	120
170013250	造影剤注入手技（関節腔内注入）	120
170013450	造影剤注入手技（気管内注入）	120
170013550	造影剤注入手技（子宮卵管内注入）	120
170013650	造影剤注入手技（胃・十二指腸ゾンデ挿入による注入）	120
170013850	経皮経肝胆管造影における造影剤注入手技	2160
170016350	造影剤注入手技（胸椎穿刺注入）	120
170016450	造影剤注入手技（頸椎穿刺注入）	120
170017650	造影剤注入手技（膀胱内注入）	120
170017750	造影剤注入手技（唾液腺注入）	120
170017850	胆管に留置したドレーンチューブ等からの造影剤注入手技	120
170023650	造影剤注入手技（腎盂内注入）	120
170027110	造影剤注入手技（動脈造影カテーテル法）（選択的血管造影）	3600
170027550	リンパ管造影を行うときの観血手術及び造影剤注入手技	1200
170028510	造影剤注入手技（嚥下造影）	240
170034310	造影剤注入手技（点滴注射）（乳幼児）（1日分の注射量が100mL以上の場合）（1日につき）	98
170034410	造影剤注入手技（点滴注射）（その他の者に対するもの）（1日分の注射量が500mL以上の場合）（1日につき）	97
170034510	造影剤注入手技（点滴注射）（その他の場合）（入院中の患者以外の患者に限る）（1日につき）	49
170034610	造影剤注入手技（動脈注射）（内臓の場合）（1日につき）	155
170034710	造影剤注入手技（動脈注射）（その他の場合）（1日につき）	45
170013350	造影剤注入手技（上顎洞穿刺注入）	120

(参考資料④)

臨床検査技師数の推計
医療専門職の実態把握に関する研究

医療専門職の実態把握に関する研究
 臨床検査技師数の推計
 2021.5.19 資料3

臨床検査技師数の推計

2021年5月19日

奈良県立医科大学公衆衛生学講座 西岡祐一

1

必要な数値：②年度別性年齢別の死亡割合

死亡割合が一般人口と異なる場合

- 職種ごとの特殊事情を反映した年度別性年齢別の死亡割合のデータが必要

◎死亡割合が一般人口と同じと考える場合

- 過去分は該当年度の簡易生命表における性別年齢別「死亡率」で代用
- 未来分は最新の生命表の性別年齢別の「死亡率」が続くと仮定

4

仮定する数値（詳細はエクセル参照）

【参考】20210423医療従事者数推計.xlsx
(放射線技師の例)

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数—スライド3
- ②年度別性年齢別死亡割合—スライド4
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合—スライド5

2

必要な数値：③年度別性年齢別の臨床従事割合

免許を保有している●●成男性/女性の何%が臨床に従事しているか

性別	年齢	割合	性別	年齢	割合
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

5

必要な数値：①年度別性年齢別の新規免許発行者数

性別	年齢	人数	性別	年齢	人数
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

3

まとめ：推計式により臨床検査技師数の将来推計が可能に

推計に必要な数値

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数
- ②年度別性年齢別死亡割合
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合

仮定する数値によって推計値は大きく動く
なるべく現実に即した値を仮定する必要がある

将来の入学定員
男女の割合
臨床従事の割合 等

6

(参考資料⑤)

需要推計で使用した診療行為コード一覧（臨床検査技師）

分類 コード	分類名称	診療行為 コード	診療行為	点数
D000	尿中一般物質定性半定量検査	160000310	尿一般	26
D001	尿中特殊物質定性定量検査	160000410	尿蛋白	7
		160001310	VMA定性(尿)	9
		160001410	Bence Jones蛋白(尿)	9
		160001710	グルコース(尿)	9
		160003550	Watson-Schwartz	17
		160003750	Deanand Barnes	17
		160003910	尿浸透圧	16
		160004110	NAG(尿)	41
		160004310	LH定性(尿)	72
		160004510	FDP(尿)	72
		160004610	δ-ALA(尿)	112
		160004810	アルブミン定量(尿)	105
		160111710	ウロビリノゲン(尿)	16
		160111810	先天性代謝異常症スクリーニングテスト(尿)	16
		160112010	アルブミン定性(尿)	49
		160112110	ポルフォビリノゲン(尿)	191
		160112210	ウロポルフィリン(尿)	108
		160112310	コプロポルフィリン(尿)	139
		160134350	ポリアミン(尿)	115
		160156710	ポルフィリン症スクリーニングテスト(尿)	17
		160157750	トランスフェリン(尿)	107
		160169250	4型コラーゲン(尿)	194
		160176350	クレアチニン試験紙法(尿)(蛋白/クレアチニン比)	11
		160181950	ミオイノシトール(尿)	120
		160189250	L-FABP(尿)	210
		160189950	総ヨウ素(尿)	191
160209650	NGAL(尿)	210		
160210610	シュウ酸(尿)	200		
D002	尿沈渣(鏡検法)	160005010	尿沈渣(鏡検法)	27

D002-2	尿沈渣（フローサイトメトリー法）	160159550	尿沈渣（フローサイトメトリー法）	24
D003	糞便検査	160005510	糞便塗抹	20
		160005710	虫卵検出（集卵法）（糞便）	15
		160006310	糞便中脂質	25
		160006410	虫体検出（糞便）	23
		160006510	糞便中ヘモグロビン定性	37
		160006710	虫卵培養（糞便）	40
		160006810	糞便中ヘモグロビン	41
		160112610	ウロビリルン（糞便）	15
		160113110	糞便中ヘモグロビン及びトランスフェリン定性・定量	56
		160210050	カルプロテクチン（糞便）	276
D004	穿刺液・採取液検査	160058050	ヒューナー検査	20
		160060910	精液一般	70
		160061010	胃液又は十二指腸液一般	55
		160061110	髄液一般	62
		160061210	頸管粘液一般	75
		160163150	顆粒球エラスターゼ（子宮頸管粘液）	125
		160167150	顆粒球エラスターゼ定性（子宮頸管粘液）	100
		160177810	I g G インデックス	426
		160177910	M B P（髄液）	593
		160178010	オリゴクローナルバンド	538
		160182110	マイクロバブルテスト	200
		160184150	I g E 定性（涙液）	100
		160190610	リン酸化タウ蛋白（髄液）	641
		160190710	タウ蛋白（髄液）	641
D004-2	悪性腫瘍組織検査	160178110	E G F R 遺伝子検査（リアルタイム P C R 法以外）	2,100
		160182210	抗悪性腫瘍剤感受性検査	2,500
		160190810	K - r a s 遺伝子検査	2,100
		160190910	E W S - F l i 1 遺伝子検査	2,100
		160191010	T L S - C H O P 遺伝子検査	2,100
		160191110	S Y T - S S X 遺伝子検査	2,100
		160191210	c - k i t 遺伝子検査	2,500
		160191310	マイクロサテライト不安定性検査（家族性非ポリポージス大腸癌）	2,100

		160202910	E G F R 遺伝子検査 (リアルタイム P C R 法)	2,500
		160205250	B R A F 遺伝子検査	6,520
		160205350	R A S 遺伝子検査	2,500
		160209950	R O S 1 融合遺伝子検査	2,500
		160215250	B R A F 遺伝子検査 (P C R - r S S O 法)	2,100
		160215550	マイクロサテライト不安定性検査 (治療困難な局所進行・転移固形癌)	2,100
D005	血液形態・機能検査	160007610	E S R	9
		160007710	好酸球数	17
		160007910	レチクロ	12
		160008010	末梢血液一般	21
		160008110	血液浸透圧	15
		160008210	末梢血液像 (鏡検法)	25
		160009310	血中微生物	40
		160009410	自己溶血	50
		160009510	血液粘稠度	50
		160009610	赤血球抵抗	45
		160010010	H b A 1 c	49
		160010210	H b F	60
		160010410	骨髓像	837
		160057410	造血器腫瘍細胞抗原	2,000
		160113310	T d T	250
		160122850	好酸球 (鼻汁・喀痰)	15
		160143350	T K 活性	233
		160191510	末梢血液像 (自動機械法)	15
D006	出血・凝固検査	160011410	出血	15
		160011610	毛細抵抗	19
		160011810	血餅収縮能	19
		160012010	P T	18
		160012110	トロンビン時間	25
		160012310	A P T T	29
		160012610	フィブリノゲン半定量	23
		160012750	蛇毒	28
		160012850	ヘパリン抵抗	28
		160013110	血小板粘着能	64

160013310	フィブリンモノマー複合体定性	93
160013510	トロンボエラストグラフ	28
160014250	プラスミン活性	80
160014310	血小板凝集能	50
160014510	F D P 定性	80
160014610	プラスミン	80
160015310	V W F 活性	136
160015410	第 8 凝固因子インヒビター	152
160015510	第 9 凝固因子インヒビター	152
160015610	P I V K A - 2	143
160015710	プラスミノゲン活性	100
160015810	プラスミン・プラスミンインヒビター複合体 (P I C)	162
160015910	凝固因子 (第 2 因子)	229
160016010	凝固因子 (第 5 因子)	229
160016110	凝固因子 (第 7 因子)	229
160016210	凝固因子 (第 8 因子)	229
160016310	凝固因子 (第 9 因子)	229
160016410	凝固因子 (第 1 0 因子)	229
160016510	凝固因子 (第 1 1 因子)	229
50016610	凝固因子 (第 1 3 因子)	229
160016710	P F 4	178
160016810	β - T G	177
160113410	クリオフィブリノゲン	23
160113510	A T 活性	70
160113610	α 2 - M G	138
160113710	α 1 - A T	80
160113810	Dダイマー定性	128
160113910	プラスミンインヒビター (アンチプラスミン)	131
160114010	Dダイマー	137
160114110	プロテイン C 活性	248
160114210	T A T	186
160121310	凝固因子 (第 1 2 因子)	229
160124650	V W F 抗原	155
160124850	プロテイン S 活性	170
160154150	t P A ・ P A I - 1 複合体	247

		160157050	トロンボモジュリン	205
		160157950	プロトロンピンフラグメントF 1 + 2	193
		160159850	フィブリンモノマー複合体	233
		160176450	トロンボテスト	18
		160182410	凝固因子インヒター定性	100
		160191610	フィブリノゲン定量	23
		160191710	A T 抗原	70
		160191810	F D P 半定量	80
		160191910	F D P 定量	80
		160192010	プラスミノゲン抗原	100
		160192110	Dダイマー半定量	131
		160192210	プロテインS抗原	162
		160192310	プロテインC抗原	246
		160210710	A D A M T S 1 3 活性	400
		160210810	A D A M T S 1 3 インヒター	600
D006-2	造血器腫瘍遺伝子検査	160165210	造血器腫瘍遺伝子検査	2,100
		160215050	B R C A 1 / 2 遺伝子検査	20,200
		160215650	F L T 3 遺伝子検査	4,200
D006-3	M a j o r B C R - A B L 1	160205810	M a j o r B C R - A B L 1 (mRNA定量・診断補助)	2,520
		160205910	M a j o r B C R - A B L 1 (mRNA定量・モニタリング)	2,520
		160206010	M a j o r B C R - A B L 1 (mRNA定量・1以外)	1,200
		160215850	膀胱がん関連遺伝子検査	1,597
D006-4	遺伝学的検査	160210910	遺伝学的検査 (容易)	3,880
		160211010	遺伝学的検査 (複雑)	5,000
		160211110	遺伝学的検査 (極複雑)	8,000
		160211210	遺伝学的検査 (容易) ((1)のIに掲げる遺伝子疾患)	3,880
		160211310	遺伝学的検査 (複雑) ((1)のIに掲げる遺伝子疾患)	5,000
		160211410	遺伝学的検査 (極複雑) ((1)のIに掲げる遺伝子疾患)	8,000

		160215750	シークエンサーシステムを用いたB R A F 遺伝子検査	5,000
D006-5	染色体検査	160060710	染色体検査	2,631
D006-6	免疫関連遺伝子再構成	160178310	免疫関連遺伝子再構成	2,504
D006-7	U D P グルクロン酸転移酵素遺伝子多型	160184650	U D P グルクロン酸転移酵素遺伝子多型	2,100
		160216050	N U D T 1 5 遺伝子多型検査	2,100
D006-8	サイトケラチン19 (K R T 1 9) m-R N A 検出	160184550	K R T 1 9 m R N A 検出	2,400
D006-9	W T 1 m R N A	160181850	W T 1 m R N A	2,520
D006-10	C C R 4 タンパク (フローサイトメトリー法)	160200650	C C R 4 タンパク (フローサイトメトリー法)	10,000
D006-11	F I P 1 L 1 - P D G F R α 融合遺伝子検査	160209550	F I P 1 L 1 - P D G F R α 融合遺伝子検査	3,300
D006-12	E G F R 遺伝子検査 (血漿)	160210250	E G F R 遺伝子検査 (血漿)	2,100
D007	血液化学検査	160000550	ケトン体試験紙法 (血)	11
		160000650	ケトン体アンプル法 (血)	11
		160000750	糖試験紙法 (血)	11
		160000850	糖アンプル法 (血)	11
		160000950	クロール試験紙法 (血)	11
		160001050	クロールアンプル法 (血)	11
		160017010	B I L / 総	11
		160017110	B I L / 直	11
		160017410	T P	11
		160018910	A l b	11
		160019010	B U N	11
		160019110	クレアチン	11
		160019210	クレアチニン	11
		160019310	U A	11
		160019410	グルコース	11
		160019510	L D	11
		160020010	A L P	11
		160020210	C h E	11
		160020310	A m y	11
		160020410	γ-G T	11
160020510	L A P	11		
160020610	C K	11		

160020710	A L D	11
160020910	T G	11
160021010	遊離コレステロール	11
160021110	ナトリウム及びクロール	11
160021410	カリウム	11
160021510	カルシウム	11
160021610	イオン化カルシウム	26
160021810	無機リン及びリン酸	17
160022110	F e	11
160022210	マグネシウム	11
160022410	T c h o	17
160022510	A S T	17
160022610	A L T	17
160022810	蛋白分画	18
160023210	リン脂質	15
160023410	H D L - コレステロール	17
160023610	T I B C (比色法)	11
160023710	U I B C (比色法)	11
160024010	リパーゼ	24
160024210	ケトン体	30
160024310	重炭酸塩	48
160024610	ムコ蛋白	29
160024710	C u	23
160025110	G - 6 - P D	80
160025210	A D A	32
160025410	グアナーゼ	35
160025510	グルタチオン	47
160025610	乳酸	47
160025710	ピルビン酸	47
160025810	α -ケトグルタル酸	47
160025910	アンモニア	50
160026210	T B A	47
160026310	A L P アイソザイム	48
160026410	アミラーゼアイソザイム	48
160026510	A S T アイソ	49

160026610	γ-G Tアイソ	48
160026710	C Kアイソ	55
160026810	L Dアイソ	48
160026910	リポ蛋白分画	49
160027010	ケトン体分画	59
160027410	L - C A T	70
160027510	ヘパリン	108
160027710	血液ガス分析	140
160028010	P S T I	95
160028310	グリコロール酸	80
160028610	ガラクトース	130
160028910	トリプシン	189
160029010	A L	118
160029110	Z n	144
160029310	P - 3 - P	140
160029410	A C E	148
160029510	P K	150
160029710	ビタミンB 1 2	148
160030010	ビタミンB 2	256
160030110	ビタミンC	314
160036810	フェリチン半定量	111
160114510	コレステロール分画	57
160114610	リポ蛋白分画 (P A Gディスク電気泳動法)	80
160114710	C K - M B	90
160114810	赤血球コプロポルフィリン	210
160114910	エタノール	113
160115010	アセトアミノフェン	190
160115210	心室筋ミオシン軽鎖 1	184
160115310	葉酸	158
160115410	赤血球プロトポルフィリン	272
160123550	M b 定性	143
160123650	ビタミンB 1	253
160124950	2. 5 - オリゴアデニル酸合成酵素活性	250
160125050	4型コラーゲン・7 S	148
160131950	B U N (尿)	11

160132050	クレアチン (尿)	11
160132150	クレアチニン (尿)	11
160132250	U A (尿)	11
160132350	アミラーゼ (尿)	11
160132450	ナトリウム及びクロール (尿)	11
160132650	カリウム (尿)	11
160132750	カルシウム (尿)	11
160132850	F e (尿)	11
160132950	マグネシウム (尿)	11
160133150	蛋白分画 (尿)	18
160133250	リパーゼ (尿)	24
160133350	C u (尿)	23
160133550	グルタチオン (尿)	47
160133650	乳酸 (尿)	47
160133750	ピルビン酸 (尿)	47
160133850	α -ケトグルタル酸 (尿)	47
160133950	アミラーゼアイソザイム (尿)	48
160134050	γ -G Tアイソ (尿)	48
160134150	A L (尿)	118
160134250	Z n (尿)	144
160137750	アミラーゼアイソザイム (膵液)	48
160137850	T B A (胆汁)	47
160137950	グルコース (胸水)	11
160138050	A D A (胸水)	32
160138150	グルコース (髄液)	11
160138250	クロール (髄液)	11
160138650	トリプシン (十二指腸液)	189
160138750	グルコース (腹水)	11
160142350	1. 5 A G	80
160145150	P L A 2	204
160145310	4型コラーゲン	143
160149650	糖固定化酵素電極 (血)	11
160149750	クロール固定化酵素電極 (血)	11
160149850	ケトン体固定化酵素電極 (血)	11
160151050	グリオアルブミン	55

160151150	ヒアルロン酸	184
160152350	アルブミン非結合型ビリルビン	143
160152650	A L P アイソザイム (P A G 電気泳動法)	180
160152750	L D アイソ 1 型	95
160152850	T n T 定性・定量	120
160153450	リポ蛋白 (a)	107
160153550	R L P - C	189
160154250	H G F	227
160157150	L P L	223
160158150	1 . 2 5 - ジヒドロキシビタミン D 3	388
160167250	L D L - コレステロール	18
160167950	I G F B P - 1 定性	185
160168150	H - F A B P 定性	143
160168450	S P - D	136
160168550	K L - 6	117
160169350	S P - A	130
160171750	心筋トロポニン I	117
160171850	B I L / 抱	11
160173910	M n	27
160177250	シスタチン C	121
160177350	ペントシジン	118
160177550	P C T 半定量	301
160180850	イヌリン	120
160180950	尿中硫酸抱合型胆汁酸	57
160184250	M D A - L D L	200
160192410	A L P アイソザイム及び B A P	96
160192510	フェリチン定量	111
160192610	M b 定量	143
160192710	H - F A B P 定量	143
160192810	P C T 定量	301
160201650	リポ蛋白分画 (H P L C 法)	129
160202450	プレセプシン定量	301
160204950	M a c - 2 結合蛋白糖鎖修飾異性体	194
160206110	アポリポ蛋白 (1 項目)	31
160206210	アポリポ蛋白 (2 項目)	62

		160206310	アポリポ蛋白（3項目以上）	94
		160206410	セレン	144
		160209050	25-ヒドロキシビタミンD	400
		160210350	インフリキシマブ定性	310
		160210550	遊離カルニチン	95
		160211710	遊離脂肪酸	59
		160211850	総カルニチン	95
		160215150	オートタキシン	194
		160215350	25-ヒドロキシビタミンD（ECLIA法）	117
D008	内分泌学的検査	160030310	HCG定性	55
		160030810	5-HIAA	95
		160031010	HVA	69
		160031110	VMA	90
		160031310	T3	105
		160031410	TBC	140
		160031510	IRI	109
		160031610	17-KS分画	213
		160031710	TSH	107
		160031810	T4	111
		160031910	GH	114
		160032010	ガストリン	107
		160032110	セクレチン	170
		160032210	レニン活性	100
		160032310	PRL	98
		160032410	エストロゲン半定量	180
		160032510	HCG半定量	142
		160032610	HCG-β	140
		160032910	FSH	114
		160033010	CPR	114
		160033210	FT3	130
		160033310	FT4	130
		160033410	カテコールアミン分画	175
		160033510	カテコールアミン	200
		160033610	カルシトニン	141
		160033910	テストステロン	128

160034010	コルチゾール	130
160034110	アルドステロン	128
160034210	サイログロブリン	137
160034310	T B G	130
160034410	E 3	180
160034510	1 7 - K G S	200
160034610	1 7 - K G S 分画	220
160034710	プロゲステロン	155
160034810	プレグナンジオール	213
160034910	プレグナントリオール	240
160035010	メタネフリン	223
160035110	メタネフリン・ノルメタネフリン分画	227
160035210	グルカゴン	150
160035310	E 2	182
160035410	c A M P	175
160035510	P T H	175
160035610	A C T H	200
160035710	ソマトメジンC	224
160035910	A D H	235
160115810	レニン定量	111
160115910	ノルメタネフリン	250
160116010	遊離テストステロン	166
160116210	1 7 α - O H P	213
160116310	A N P	227
160123850	1 1 - O H C S	60
160124050	H P L	140
160124150	低単位H C G 半定量	170
160125650	エリスロポエチン	209
160134750	H C G 定性 (尿)	55
160135150	5 - H I A A (尿)	95
160135250	H V A (尿)	69
160135350	V M A (尿)	90
160135450	エストロゲン半定量 (尿)	180
160135550	H C G 半定量 (尿)	142
160135650	H C G - β (尿)	140

160135750	F S H (尿)	114
160135850	C P R (尿)	114
160135950	1 7 - K G S (尿)	200
160136050	1 7 - K G S 分画 (尿)	220
160136150	プレグナンジオール (尿)	213
160136350	1 7 - K S 分画 (尿)	213
160136450	テストステロン (尿)	128
160136550	アルドステロン (尿)	128
160136650	E 3 (尿)	180
160136750	E 2 (尿)	182
160136850	c A M P (尿)	175
160137050	プレグナントリオール (尿)	240
160137150	メタネフリン (尿)	223
160137250	メタネフリン・ノルメタネフリン分画 (尿)	227
160138350	5 - H I A A (髄液)	95
160138450	H V A (髄液)	69
160138550	V M A (髄液)	90
160149910	L H	114
160151250	O C	165
160152950	D H E A - S	176
160153650	C - P T H r P	180
160154650	P T H r P	194
160162050	抗 G A D 抗体	134
160162350	B N P	136
160163350	I G F B P - 3	280
160164250	N T X	156
160164650	D P D (尿)	191
160168650	B A P	161
160174850	β - C T X (尿)	169
160176950	抗 I A - 2 抗体	213
160181050	β - C T X	170
160181250	N T - p r o B N P	140
160181350	u c O C	162
160184450	T R A C P - 5 b	156
160188650	I n t a c t P 1 N P	168

		160192910	H C G 定量	142
		160193010	H C G 定量 (尿)	142
		160193110	エストロゲン定量	180
		160193210	エストロゲン定量 (尿)	180
		160201750	P 1 N P	170
D009	腫瘍マーカー	160036510	C E A	105
		160036710	A F P	107
		160036910	D U P A N - 2	121
		160037110	T P A	110
		160037210	C A 1 9 - 9	130
		160037310	C A 1 5 - 3	121
		160037410	S C C 抗原	110
		160037510	P S A	130
		160037710	エラスターゼ 1	129
		160037810	P A P	124
		160037910	N S E	146
		160038010	C A 1 2 5	148
		160038110	γ - S m	194
		160116410	N C C - S T - 4 3 9	121
		160116510	C A 7 2 - 4	146
		160116910	B F P	150
		160117010	S P a n - 1	146
		160117110	P I V K A - 2 半定量	143
		160117210	S L X	152
		160125750	B C A 2 2 5	165
		160137350	T P A (尿)	110
		160138850	S P a n - 1 (腹水)	146
		160142450	S T N	146
		160143250	C E A 定性 (乳頭分泌液)	314
		160150350	C A 6 0 2	190
		160150450	C A 5 4 / 6 1	184
		160158050	s I L - 2 R	438
		160159050	サイトケラチン 1 9 フラグメント	167
		160162150	A F P - L 3 %	190
		160162250	P r o G R P	175

		160163250	C S L E X	169
		160163750	G A T	184
		160168850	N M P 2 2 定性 (尿)	151
		160168950	P S A F / T 比	158
		160169710	尿中 B T A	80
		160175610	H E R 2 蛋白	320
		160178510	1 C T P	170
		160181750	抗 p 5 3 抗体	163
		160184850	サイトケラチン 8・1 8 (尿)	160
		160193310	P I V K A - 2 定量	143
		160193410	C E A 半定量 (乳頭分泌液)	314
		160200410	N M P 2 2 定量 (尿)	151
		160204750	可溶性ミノテリン関連ペプチド	220
		160209850	H E 4	200
D010	特殊分析	160038210	糖分析 (尿)	38
		160038310	結石分析	120
		160038410	アミノ酸定性	350
		160038510	脂肪酸分画	429
		160038610	アミノ酸	295
		160038750	フェニール・アラニン (血)	295
		160038850	ヒスチジン定量 (血)	295
		160038950	フェニール・アラニン (尿)	295
		160039050	ヒスチジン定量 (尿)	295
		160102410	アミノ酸 (5種類以上)	1,212
		160137450	アミノ酸定性 (尿)	350
		160151850	チロシン	200
		160157550	総分岐鎖アミノ酸 / B T R	288
		160169810	先天性代謝異常症検査	1,176
D011	免疫血液学的検査	160039110	A B O	24
		160039210	R h (D)	24
		160039310	C o o m b s 試験 (直接)	34
		160039410	C o o m b s 試験 (間接)	47
		160039510	A B O 亜型	260
		160039610	R h (その他の因子)	156
		160039710	抗血小板抗体	262

		160117310	A B O血液型関連糖転移酵素活性	191
		160161410	不規則抗体	159
		160178610	P A - I g G	204
		160201050	血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体 (I g G、 I g M、I g A抗体)	390
		160201150	血小板第4因子-ヘパリン複合体抗体 (I g G 抗体)	389
D012	感染症免疫学的検査	160007110	クロストリジウム・ディフィシル抗原定性	80
		160039810	S T S 定性	15
		160039910	A S O 定性	15
		160040110	トキソプラズマ抗体半定量	26
		160040710	S T S 定量	34
		160040810	A S K 定性	29
		160040910	梅毒トレポネーマ抗体定性	32
		160041010	マイコプラズマ抗体定性	32
		160041510	梅毒トレポネーマ抗体半定量	53
		160041610	アデノウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160041710	コクサッキーウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160041810	サイトメガロウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160041910	E Bウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160042010	エコーウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160042110	ヘルペスウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160042210	インフルエンザウイルスA型抗体価 (定性・半定量・ 定量)	79
		160042310	インフルエンザウイルスB型抗体価 (定性・半定量・ 定量)	79
		160042410	ムンプスウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160042510	パラインフルエンザウイルス1型抗体価 (定性・半定 量・定量)	79
		160042610	パラインフルエンザウイルス2型抗体価 (定性・半定 量・定量)	79
		160042710	パラインフルエンザウイルス3型抗体価 (定性・半定 量・定量)	79
		160042810	ポリオウイルス1型抗体価 (定性・半定量・定量)	79
		160042910	ポリオウイルス2型抗体価 (定性・半定量・定量)	79

160043010	ポリオウイルス3型抗体価（定性・半定量・定量）	79
160043110	R Sウイルス抗体価（定性・半定量・定量）	79
160043210	風疹ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）	79
160043310	麻疹ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）	79
160043410	日本脳炎ウイルス抗体価（定性・半定量・定量）	79
160043510	オーム病クラミジア抗体価（定性・半定量・定量）	79
160043710	トキソプラズマ抗体	93
160043810	H T L V - I 抗体半定量	85
160044010	百日咳菌抗体半定量	80
160044110	A群β溶連菌迅速試験定性	130
160044210	単純ヘルペスウイルス抗原定性	180
160044710	F T A - A B S 試験定性	142
160044810	ブルセラ抗体定性	206
160045210	H T L V - 1 抗体	173
160046010	グロブリンクラス別ウイルス抗体価（ヘルペス）	218
160046210	グロブリンクラス別ウイルス抗体価（風疹）	218
160058550	淋菌抗原定性	180
160104150	肺炎球菌抗原定性（髄液）	146
160104250	肺炎球菌抗原定性（尿）	146
160109410	グロブリンクラス別ウイルス抗体価（サイトメガロ）	218
160112810	アデノウイルス抗原定性（糞便）	60
160112910	ロタウイルス抗原定性（糞便）	65
160115510	エンドトキシン	250
160117510	H I V - 1 抗体	116
160117610	R Sウイルス抗原定性	142
160117710	ツツガムシ抗体定性	213
160117810	グロブリンクラス別クラミジア・トラコマチス抗体	206
160117910	赤痢アメーバ抗体半定量	223
160118010	グロブリンクラス別ウイルス抗体価	218
160118110	H I V - 1 抗体（ウエスタンブロット法）	280
160118210	H I V 抗原	600
160120610	クラミジア・トラコマチス抗原定性	160
160121450	サイトメガロウイルス抗体	220
160121510	グロブリンクラス別ウイルス抗体価（E B）	218
160122050	H i b 抗原定性（尿）	140

160122150	H i b 抗原定性 (髄液)	140
160125850	水痘ウイルス抗原定性 (上皮細胞)	240
160141850	カンジダ抗原定性	138
160142650	H T L V - 1 抗体 (ウエスタンブロット法及びラインブロット法)	425
160143550	D - アラビニトール	160
160148810	アデノウイルス抗原定性 (糞便を除く。)	194
160151350	トキソプラズマ I g M 抗体	95
160151950	クリプトコックス抗原定性	179
160152450	百日咳菌抗体	272
160153050	H I V - 1、2 抗体定性	118
160153150	マイコプラズマ抗原定性 (F A 法)	170
160154450	H I V - 2 抗体 (ウエスタンブロット法)	380
160157210	グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (麻疹)	218
160157310	グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (ムンプス)	218
160158250	アニサキス I g G・I g A 抗体	210
160158350	アスペルギルス抗原	164
160160150	(1 → 3) - β - D - グルカン	213
160162750	大腸菌血清型別	180
160163850	サイトメガロウイルス p p 6 5 抗原定性	387
160164350	大腸菌 O 1 5 7 抗原定性	165
160167350	クラミドフィラ・ニューモニ I g G 抗体	70
160167450	クラミドフィラ・ニューモニ I g A 抗体	75
160167550	グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (ヒトパルボウイルス B 1 9)	218
160168250	大腸菌 O 1 5 7 抗体定性	173
160169450	インフルエンザウイルス抗原定性	143
160172450	ヘリコバクター・ピロリ抗体定性・半定量	70
160172550	ヘリコバクター・ピロリ抗体	80
160172750	迅速ウレアーゼ試験定性	60
160173450	結核菌群抗原定性	291
160173650	抗酸菌抗体定性	116
160174310	水痘・帯状疱疹ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量)	79
160174950	レジオネラ抗原定性 (尿)	223

160175450	ヘリコクター・ピロリ抗原定性	146
160177050	クラミドフィラ・ニューモニエ I g M抗体	160
160177150	肺炎球菌莢膜抗原定性（尿）	204
160188850	肺炎球菌細胞壁抗原定性	194
160188950	単純ヘルペスウイルス抗原定性（角膜）	210
160193510	A S O半定量	15
160193610	A S O定量	15
160193710	トキソプラズマ抗体定性	26
160193810	A S K半定量	29
160193910	マイコプラズマ抗体半定量	32
160194010	梅毒トレポネーマ抗体定量	53
160194110	ロタウイルス抗原定量（糞便）	65
160194210	百日咳菌抗体定性	80
160194310	H T L V - I 抗体定性	85
160194410	抗酸菌抗体定量	116
160194510	H I V - 1、2 抗体半定量	118
160194610	H I V - 1、2 抗体定量	127
160194710	H I V - 1、2 抗原・抗体同時測定定性	118
160194810	H I V - 1、2 抗原・抗体同時測定定量	118
160194910	カンジダ抗原半定量	138
160195010	カンジダ抗原定量	138
160195110	ノロウイルス抗原定性	150
160195210	クリプトコックス抗原半定量	179
160195310	ツツガムシ抗体半定量	213
160201250	インフルエンザ菌（無莢膜型）抗原定性	150
160201550	抗トリコスポロン・アサヒ抗体	900
160201850	肺炎球菌莢膜抗原定性（髄液）	204
160201950	単純ヘルペスウイルス抗原定性（性器）	210
160202050	マイコプラズマ抗原定性（免疫クロマト法）	150
160202550	ヒトメタニューモウイルス抗原定性	150
160203010	S T S半定量	34
160203110	F T A - A B S試験半定量	142
160203210	ブルセラ抗体半定量	206
160204610	グロブリンクラス別ウイルス抗体価（水痘・帯状疱疹ウイルス）	218

		160205550	デングウイルス抗原定性	233
		160208950	デングウイルス抗原・抗体同時測定定性	233
D013	肝炎ウイルス関連検査	160046810	H B s 抗原定性・半定量	29
		160047410	H B s 抗体半定量	32
		160049210	H B s 抗原	88
		160049510	H B s 抗体	88
		160050010	H B e 抗原	107
		160050110	H B e 抗体	107
		160118510	H C V 抗体定性・定量	111
		160118610	デルタ肝炎ウイルス抗体	330
		160120710	H B c 抗体半定量・定量	141
		160120810	H A 抗体	146
		160120910	H A - I g M 抗体	146
		160121010	H B c - I g M 抗体	146
		160153250	H C V 特異抗体価	340
		160153850	H C V コア抗体	143
		160154550	H C V 構造蛋白及び非構造蛋白抗体定性	160
		160162450	H C V 血清群別判定	233
		160167750	H C V コア蛋白	111
		160182050	H B c r A g	274
		160189050	H B V ジェノタイプ判定	340
		160189450	H E - I g A 抗体定性	210
		160195410	H B s 抗体定性	32
		160195510	H C V 構造蛋白及び非構造蛋白抗体半定量	160
D014	自己抗体検査	160009950	Donath-Landsteiner 試験	55
		160035810	T R A b	232
		160052710	寒冷凝集	11
		160053510	抗サイログロブリン抗体半定量	37
		160054110	抗インスリン抗体	110
		160054310	抗 D N A 抗体定性	172
		160054510	抗ミトコンドリア抗体定性	191
		160118410	抗 A C h R 抗体	847
		160119210	C 1 q 結合免疫複合体	161
		160121210	抗核抗体 (蛍光抗体法除く。)	110
		160141750	抗サイログロブリン抗体	144

160143750	モノクローナルR F 結合免疫複合体	194
160145510	抗R N P 抗体定性	144
160145710	抗S m抗体定性	155
160145910	抗S S - A / R o 抗体定性	163
160146010	抗S c l - 7 0 抗体定性	162
160146110	抗S S - B / L a 抗体定性	161
160151650	I g G型リウマトイド因子	203
160152050	抗J o - 1 抗体定性	144
160153950	A N C A 定性	290
160154350	抗カルジオリピン β 2グリコプロテイン I 複合体抗体	223
160157450	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	146
160162550	T S A b	340
160163950	抗セントロメア抗体定性	184
160164050	抗カルジオリピン抗体	239
160167850	M P O - A N C A	273
160168750	抗ガラクトース欠損 I g G 抗体定性	117
160169050	抗G B M抗体	277
160169150	ループスアンチコアグラント定性	281
160173150	M M P - 3	116
160173250	抗L K M - 1 抗体	221
160175250	抗デスマグレイン 1 抗体	300
160175350	抗デスマグレイン 3 抗体	270
160176750	抗甲状腺マイクロソーム抗体半定量	37
160181150	抗シトルリン化ペプチド抗体定性	210
160181450	抗G M 1 I g G 抗体	460
160181550	抗G Q 1 b I g G 抗体	460
160181650	抗B P 1 8 0 - N C 1 6 a 抗体	270
160182510	抗核抗体（蛍光抗体法）定性	105
160182610	抗グルタミン酸レセプター抗体	970
160185410	I g G 4	377
160188550	抗R N Aポリメラーゼ 3 抗体	170
160195610	R F 定量	30
160195710	抗核抗体（蛍光抗体法）半定量	105
160195810	抗核抗体（蛍光抗体法）定量	105
160195910	抗ガラクトース欠損 I g G 抗体定量	117

		160196010	抗 J o - 1 抗体半定量	144
		160196110	抗 J o - 1 抗体定量	144
		160196210	抗 R N P 抗体半定量	144
		160196310	抗 R N P 抗体定量	144
		160196410	抗 S m 抗体半定量	155
		160196510	抗 S m 抗体定量	155
		160196610	抗 S S - A / R o 抗体半定量	163
		160196710	抗 S S - A / R o 抗体定量	163
		160196810	抗 S S - B / L a 抗体半定量	161
		160196910	抗 S S - B / L a 抗体定量	161
		160197010	抗 S c l - 7 0 抗体半定量	162
		160197110	抗 S c l - 7 0 抗体定量	162
		160197210	抗 D N A 抗体定量	172
		160197310	抗セントロメア抗体定量	184
		160197410	抗シトルリン化ペプチド抗体定量	210
		160197510	抗ミトコンドリア抗体定量	200
		160197610	ループスアンチコアグラント定量	281
		160197710	P R 3 - A N C A	275
		160202250	抗アクアポリン 4 抗体	1,000
		160202350	抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体	1,000
		160202650	抗 A R S 抗体	190
		160203310	抗ミトコンドリア抗体半定量	191
		160205150	I g G 2 (ネフェロメトリー法)	388
		160205750	I g G 2 (T I A 法)	239
		160209150	抗 M D A 5 抗体	270
		160209250	抗 M i - 2 抗体	270
		160209350	抗 T I F 1 - γ 抗体	270
		160211910	抗 H L A 抗体 (スクリーニング検査)	1,000
		160212010	抗 H L A 抗体 (抗体特異性同定検査)	5,000
		160215450	抗デスマogleイン 1、3 及び抗 B P 1 8 0 - N C 1 6 a 抗体同時測定	490
D015	血漿蛋白免疫学的検査	160004910	B e n c e J o n e s 蛋白同定 (尿)	203
		160020810	G - 6 - P a s e	30
		160022710	G - 6 - P D 定性	34
		160028410	セルプラスミン	90

160029610	α1 - マイクログロブリン	140
160036610	β2 - マイクログロブリン	107
160054610	C R P 定性	16
160054710	C R P	16
160054810	クリオグロブリン定性	42
160054910	C H 5 0	38
160055010	I g A	38
160055110	I g D	38
160055210	I g G	38
160055310	I g M	38
160055710	トランスサイレチン (プレアルブミン)	107
160055810	C 3 プロアクチベータ	160
160056110	特異的 I g E 半定量・定量	110
160056210	ヘモペキシン	180
160056310	ハプトグロビン	140
160056610	C 1 インアクチベータ	276
160104350	A P R スコア定性	191
160114310	赤血球コプロポルフィリン定性	30
160114410	赤血球プロトポルフィリン定性	34
160118810	非特異的 I g E 半定量	100
160118910	R B P	136
160124350	C 3	70
160124450	C 4	70
160124550	T f	60
160134450	α1 - マイクログロブリン (尿)	140
160137550	β2 - マイクログロブリン (尿)	107
160143850	アトピー鑑別試験定性	194
160156550	癌胎児性フィブロネクチン定性 (頸管腔分泌液)	204
160159150	免疫グロブリン L 鎖κ/λ比	330
160160250	S A A	47
160162950	H R T	159
160167650	H R T (9種類以上)	1,430
160177450	結核菌特異的インターフェロン-γ産生能	630
160184350	T A R C	189
160189350	免疫グロブリン遊離 L 鎖κ/λ比	400

		160197810	グリオグロブリン定量	42
		160197910	非特異的 I g E 定量	100
		160212110	免疫電気泳動法（抗ヒト全血清）	170
		160212210	免疫電気泳動法（特異抗血清）	230
D016	細胞機能検査	160056710	顆粒球スクリーニング	220
		160056810	顆粒球機能	200
		160056910	B細胞表面免疫グロブリン	161
		160057210	T細胞サブセット検査	194
		160057310	T細胞・B細胞百分率	204
		160175710	赤血球表面抗原検査	270
		160212310	L S T（1薬剤）	345
		160212410	L S T（2薬剤）	425
		160212510	L S T（3薬剤以上）	515
D017	排泄物、滲出物又は分泌物の細菌顕微鏡検査	160057510	S－蛍光M、位相差M、暗視野M	50
		160057710	S－M	61
		160057850	S－保温装置使用アメーバM	45
D018	細菌培養同定検査	160058210	細菌培養同定（口腔）	160
		160058310	細菌培養同定（消化管）	180
		160058410	細菌培養同定（泌尿器）	170
		160058610	細菌培養同定（血液）	210
		160058710	細菌培養同定（その他）	160
		160058810	簡易培養	60
		160144410	細菌培養同定（気道）	160
		160144510	細菌培養同定（呼吸器）	160
		160144610	細菌培養同定（生殖器）	170
		160144710	細菌培養同定（穿刺液）	210
D019	細菌薬剤感受性検査	160146210	細菌薬剤感受性（1菌種）	170
		160146310	細菌薬剤感受性（2菌種）	220
		160146410	細菌薬剤感受性（3菌種以上）	280
D019-2	酵母様真菌薬剤感受性検査	160164450	酵母様真菌薬剤感受性検査	150
D020	抗酸菌分離培養検査	160059210	抗酸菌分離培養（液体培地法）（酸素感受性 蛍光センサー）	280
		160169910	抗酸菌分離培養（それ以外）	204

		160172250	抗酸菌分離培養（液体培地法）（二酸化炭素センサー）	280
		160172350	抗酸菌分離培養（液体培地法）（酸化還元呈色色素）	280
D021	抗酸菌同定	160059410	抗酸菌同定	361
D022	抗酸菌薬剤感受性検査	160059610	抗酸菌薬剤感受性	380
D023	微生物核酸同定・定量検査	160142150	M A C 核酸検出	421
		160152150	抗酸菌核酸同定	410
		160156650	ブドウ球菌メチシリン耐性遺伝子検出	450
		160157850	結核菌群核酸検出	410
		160158450	H C V 核酸定量	437
		160158650	クラミジア・トラコマチス核酸検出	204
		160159750	H C V 核酸検出	360
		160160350	H B V 核酸定量	279
		160163650	H I V - 1 核酸定量	520
		160164150	淋菌核酸検出	204
		160173350	細菌核酸検出（白血球）（1 菌種）	130
		160174550	結核菌群リファンピシン耐性遺伝子検出	850
		160175150	H B V 核酸ブレコア変異及びコアプロモーター変異検出	450
		160177650	淋菌及びクラミジア・トラコマチス同時核酸検出	286
		160178710	H I V ジェノタイプ薬剤耐性	6,000
		160185610	H P V 核酸検出	360
		160189150	H P V ジェノタイプ判定	2,000
		160189550	レジオネラ核酸検出	292
		160189650	マイコプラズマ核酸検出	300
		160198010	インフルエンザ核酸検出	410
		160201350	結核菌群ピラジナミド耐性遺伝子検出	850
		160201450	H P V 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	360
		160202150	結核菌群イソニアジド耐性遺伝子検出	850
		160206710	H T L V - 1 核酸検出	450
		160208710	単純疱疹ウイルス・水痘帯状疱疹ウイルス核酸定量	450
		160209450	百日咳菌核酸検出	360
		160210150	細菌核酸・薬剤耐性遺伝子同時検出	1,700
		160210450	サイトメガロウイルス核酸検出	850

		160212710	E Bウイルス核酸定量	310
D023-2	その他の微生物学的検査	160162650	大腸菌ペロトキシン定性	194
		160172850	U B T	70
		160173050	P B P 2'定性	55
D024	動物使用検査	160059710	動物使用検査	170
D026	検体検査判断料	160061710	尿・糞便等検査判断料	34
		160061810	血液学的検査判断料	125
		160061910	生化学的検査（1）判断料	144
		160062010	生化学的検査（2）判断料	144
		160062110	免疫学的検査判断料	144
		160062210	微生物学的検査判断料	150
D200	スパイログラフィー等検査	160062610	肺気量分画	90
		160062710	フローボリューム	100
		160062810	機能的残気量	140
		160063010	呼気ガス分析	100
		160063110	左右別肺機能	1,010
D201	換気力学的検査	160063310	コンプライアンス	135
		160063410	気道抵抗	135
		160063550	肺粘性抵抗	135
		160063750	吸気分布	135
		160198210	呼吸抵抗測定（広域周波オシレーション法）	150
		160198310	呼吸抵抗測定（その他）	60
D202	肺内ガス分布	160063810	指標ガス洗い出し	135
		160063910	クロージングボリューム	135
D203	肺胞機能検査	160064010	肺拡散能力	180
		160064110	死腔量	135
		160064210	肺内シャント	135
D204	基礎代謝測定	160064310	B M R	85
D205	呼吸機能検査等判断料	160146910	呼吸機能検査等判断料	140
D206	心臓カテーテル法による諸検査	160064510	心カテ（左心）	4,000
		160064610	心カテ（右心）	3,600
D207	体液量等測定	160067010	体液量	60
		160067110	血流量	100
		160067210	皮弁血流	100
		160067410	心拍出量	150

		160067610	循環時間	150
		160067710	循環血液量（色素希釈法以外）	150
		160068050	細胞外液量	60
		160068250	循環血流量（色素希釈法）	100
		160143950	電子授受式発消色性インジケータ-使用皮膚表面温度	100
		160189850	血管内皮機能検査	200
		160207010	皮膚灌流圧測定	100
D208	心電図検査	160068410	E C G 1 2	130
		160068510	E C G（6誘導以上）	90
		160068610	E C G診断（他医描写）	70
		160068750	体表ヒス束心電図	150
		160068850	V C G	150
		160150650	携帯型発作時心電図記憶伝達装置使用心電図	150
		160198510	加算平均心電図による心室遅延電位測定	200
D209	負荷心電図検査	160069210	E C G負荷 1 2	380
		160069310	E C G負荷（6誘導以上）	190
		160069410	E C G負荷診断（他医描写）	70
D210	ホルター型心電図検査	160069510	ホルター型心電図	90
		160069610	ホルター型心電図（8時間超）	1,750
D210-2	体表面心電図、心外膜興奮伝播図	160069750	体表面心電図	1,500
		160069850	心外膜興奮伝播図	1,500
D210-3	植込型心電図検査	160186310	植込型心電図	90
D210-4	T波オルタナンス検査	160198610	T波オルタナンス	1,100
D211	トレッドミルによる負荷心肺機能検査、サイクルエルゴメータ-による心肺機能検査	160069910	トレッドミルによる負荷心肺機能検査	1,400
		160070050	サイクルエルゴメータ-による心肺機能検査	1,400
D211-2	喘息運動負荷試験	160186510	喘息運動負荷試験	800
D211-3	時間内歩行試験	160198710	時間内歩行試験	200
D211-4	シャトルウォーキングテスト	160207110	シャトルウォーキングテスト	200
D212	リアルタイム解析型心電図	160125550	リアルタイム解析型心電図	600
D212-2	携帯型発作時心電図記録計使用心電図検査	160125950	携帯型発作時心電図記録計使用心電図	500
D213	心音図検査	160071910	P C G	150
D214	脈波図、心機図、ポリグラフ検査	160070110	脈波図、心機図、ポリグラフ（2検査）	80

		160070210	脈波図、心機図、ポリグラフ（3又は4検査）	130
		160070310	脈波図、心機図、ポリグラフ（5又は6検査）	180
		160070410	脈波図、心機図、ポリグラフ（7検査以上）	220
		160071550	脈波図、心機図、ポリグラフ（1検査）	60
		160071750	血管伸展性	100
D215	超音波検査	160072110	超音波検査（Aモード法）	150
		160072210	超音波検査（断層撮影法）（胸腹部）	530
		160072450	超音波検査（心臓超音波検査以外）（断層撮影法とMモード法）	530
		160072510	超音波検査（心臓超音波検査）（経胸壁心エコー法）	880
		160072610	超音波検査（心臓超音波検査）（Mモード法）	500
		160072750	超音波検査（心臓超音波検査以外）（Mモード法）	500
		160072910	超音波検査（ドプラ法）（胎児心音観察）	20
		160147110	超音波検査（ドプラ法）（脳動脈血流速度連続測定）	150
		160147210	超音波検査（ドプラ法）（脳動脈血流速度マッピング法）	400
		160150050	超音波検査（ドプラ法）（末梢血管血行動態）	20
		160160410	超音波検査（心臓超音波検査）（経食道心エコー法）	1,500
		160161710	超音波検査（血管内超音波法）	4,290
		160165010	超音波検査（断層撮影法）（その他）	350
		160186610	超音波検査（心臓超音波検査）（胎児心エコー法）	300
		160198810	超音波検査（心臓超音波検査）（負荷心エコー法）	2,010
		160213010	超音波検査（断層撮影法）（下肢血管）	450
D215-2	肝硬度測定	160189750	肝硬度測定	200
D215-3	超音波エラストグラフィ	160207310	超音波エラストグラフィ	200
D216	サーモグラフィ検査	160073010	サーモグラフィ	200
D216-2	残尿測定検査	160170310	残尿測定検査（超音波によるもの）	55
		160186710	残尿測定検査（導尿によるもの）	45
D217	骨塩定量検査	160091310	骨塩定量検査（DEXA法による腰椎撮影）	360

		160147310	骨塩定量検査（MD法、S E X A法等）	140
		160170410	骨塩定量検査（超音波法）	80
D218	分娩監視装置による諸検査	160073210	分娩監視装置による諸検査（1時間以内）	480
		160073310	分娩監視装置による諸検査（1時間超1時間30分）	660
		160073410	分娩監視装置による諸検査（1時間30分超）	840
D219	ノンストレステスト	160147410	ノンストレステスト	200
D220	呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ（ハートスコープ）、カルジオタコスコープ	160073510	呼吸心拍監視	50
		160073650	新生児心拍・呼吸監視	50
		160073750	カルジオスコープ（ハートスコープ）	50
		160073850	カルジオタコスコープ	50
		160102510	呼吸心拍監視（3時間超）（7日以内）	150
		160102650	新生児心拍・呼吸監視（3時間超）（7日以内）	150
		160102750	カルジオスコープ（ハートスコープ・3時間超）（7日以内）	150
		160102850	カルジオタコスコープ（3時間超）（7日以内）	150
		160165510	呼吸心拍監視（7日超14日以内）	130
		160165610	呼吸心拍監視（14日超）	50
		160165750	新生児心拍・呼吸監視（7日超14日以内）	130
		160165850	新生児心拍・呼吸監視（14日超）	50
		160165950	カルジオスコープ（ハートスコープ）（7日超14日以内）	130
		160166050	カルジオスコープ（ハートスコープ）（14日超）	50
		160166150	カルジオタコスコープ（7日超14日以内）	130
		160166250	カルジオタコスコープ（14日超）	50
D221-2	筋肉コンパートメント内圧測定	160198910	筋肉コンパートメント内圧測定	620
D222	経皮的血液ガス分圧測定、血液ガス連続測定	160073910	経皮的血液ガス分圧測定	100
		160102910	経皮的血液ガス分圧測定（5時間超）	600
		160159350	血液ガス連続	100
		160159450	血液ガス連続（5時間超）	600
D222-2	経皮的酸素ガス分圧測定	160207410	経皮的酸素ガス分圧	100

D223	経皮的動脈血酸素飽和度測定	160155510	経皮的動脈血酸素飽和度	30
D223-2	終夜経皮的動脈血酸素飽和度測定	160178810	終夜経皮的動脈血酸素飽和度	100
D224	終末呼気炭酸ガス濃度測定	160155610	終末呼気炭酸ガス濃度	100
D225	観血的動脈圧測定	160074010	観血的動脈圧（1時間以内）	130
		160074210	観血的動脈圧（1時間超）	260
D225-2	非観血的連続血圧測定	160157650	非観血的連続血圧測定	100
D225-3	24時間自由行動下血圧測定	160183010	24時間自由行動下血圧測定	200
D225-4	ヘッドアップティルト試験	160199010	ヘッドアップティルト試験	980
D226	中心静脈圧測定	160074310	中心静脈圧（4回以下）	120
		160074410	中心静脈圧（5回以上）	240
D228	深部体温計による深部体温測定	160074750	深部体温	100
D229	前額部、胸部、手掌部又は足底部体表面体温測定による末梢循環不全状態観察	160150150	各部体表面体温測定による末梢循環不全状態観察	100
D230	観血的肺動脈圧測定	160075010	観血的肺動脈圧（2時間超）	540
		160183910	観血的肺動脈圧（1時間以内又は1時間につき）	180
D231	人工臓器検査	160075210	人工臓器検査	5,000
D231-2	皮下連続式グルコース測定	160186910	皮下連続式グルコース測定（診療所）	700
		160213210	皮下連続式グルコース測定（病院）	700
D232	食道内圧測定検査	160063650	食道内圧	780
D233	直腸肛門機能検査	160094550	直腸肛門機能（1項目）	800
		160170510	直腸肛門機能（2項目以上）	1,200
D234	胃・食道内24時間pH測定	160155810	胃・食道内24時間pH	1,300
D235	脳波検査	160075310	E E G 8	720
		160075610	E E G 診断（他医描写）	70
		160075750	E E G 2	80
		160075850	E E G 3～4	130
		160075950	E E G 5～6	180
		160076050	E E G 7	220
		160200510	E E G 1	60
D235-3	長期脳波ビデオ同時記録検査	160187010	長期脳波ビデオ同時記録検査 2	900
		160207510	長期脳波ビデオ同時記録検査 1	3,500
D236	脳誘発電位検査	160076110	体性感覚誘発電位	804
		160076210	視覚誘発電位	804
		160076310	聴性誘発	804

		160076450	脳波聴力	804
		160076550	脳幹反応聴力	804
		160076650	中間潜時反応聴力	804
		160187110	聴性定常反応	960
D236-2	光トポグラフィー	160174010	光トポグラフィー（脳外科手術前検査）	670
		160203410	光トポグラフィー（抑うつ症状の鑑別診断）（精神保健指定医）	400
		160203510	光トポグラフィー（抑うつ症状の鑑別診断）（イ以外の場合）	200
D236-3	脳磁図	160175810	脳磁図	5,100
D237	終夜睡眠ポリグラフィー	160119410	終夜睡眠ポリグラフィー（携帯用装置使用）	720
		160160510	終夜睡眠ポリグラフィー（1及び2以外）	3,960
		160188750	終夜睡眠ポリグラフィー（多点感圧センサーを有する睡眠評価装置）	250
D237-2	反復睡眠潜時試験（MSLT）	160183110	MSLT	5,000
D238	脳波検査判断料	160147610	脳波検査判断料2	180
		160207610	脳波検査判断料1	350
		160207710	遠隔脳波検査判断料1	350
D239	筋電図検査	160076710	筋電図（1肢につき）	300
		160076810	誘発筋電図	200
		160166510	筋電図（1筋につき）	300
		160174110	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	800
D239-2	電流知覚閾値測定	160165110	電流知覚閾値測定	200
D239-3	神経学的検査	160183210	神経学的検査	500
D239-4	全身温熱発汗試験	160203610	全身温熱発汗試験	600
D239-5	精密知覚機能検査	160207810	精密知覚機能検査	280
D240	神経・筋負荷テスト	160077010	テンシロンテスト	130
		160077110	乏血運動負荷テスト	200
		160119510	瞳孔薬物負荷テスト	130
D241	神経・筋検査判断料	160147710	神経・筋検査判断料	180
D242	尿水力学的検査	160077510	膀胱内圧	260
		160077610	尿道圧測定図	260
		160077710	尿流	205
		160077810	括約筋筋電図	310
D244	自覚的聴力検査	160078010	標準純音聴力	350

		160078210	後迷路機能	400
		160078310	内耳機能	400
		160078410	中耳機能	150
		160078650	ことばのききとり	350
		160078750	自記オーディオ	350
		160147810	標準語音聴力	350
		160153350	耳鳴検査	400
		160175910	簡易聴力（気導純音聴力）	110
		160176010	簡易聴力（その他）	40
D244-2	補聴器適合検査	160170710	補聴器適合検査（1回目）	1,300
		160170810	補聴器適合検査（2回目以降）	700
D245	鼻腔通気度検査	160078850	鼻腔通気度	300
D246	アコースティックオトスコープを用いた鼓膜音響反射率検査	160078550	鼓膜音響反射率（アコースティックオトスコープ）	100
D247	他覚的聴力検査又は行動観察による聴力検査	160078910	鼓膜音響インピーダンス	290
		160079010	チンパノメトリー	340
		160079110	耳小骨筋反射	450
		160079210	遊戯聴力	450
		160170910	耳音響放射（OAE）検査（自発耳音響放射）	100
		160171010	耳音響放射（OAE）検査（その他）	300
D248	耳管機能測定装置を用いた耳管機能測定	160152250	耳管機能（耳管機能測定装置）	450
D249	蝸電図	160079310	蝸電図	750
D250	平衡機能検査	160079410	平衡機能（標準）	20
		160079610	平衡機能（温度眼振）	120
		160079710	平衡機能（視運動眼振）	120
		160079810	平衡機能（回転眼振）	120
		160079910	平衡機能（視標追跡）	120
		160080010	平衡機能（迷路瘻孔症状）	120
		160080110	ENG（その他）	260
		160155910	重心動揺計	250
		160171950	下肢加重検査	250
		160172050	フォースプレート分析	250
		160172150	動作分析検査	250

		160179010	E N G（皿電極により4誘導以上）	400
		160199110	平衡機能（赤外線C C Dカメラ等）	300
		160199210	平衡機能（その他）	140
D251	音声言語医学的検査	160080210	喉頭ストロボスコープ	450
		160080310	音響分析	450
		160080410	音声機能	450
D252	扁桃マッサージ法	160080510	扁桃マッサージ法	40
D253	嗅覚検査	160080610	基準嗅覚	450
		160080710	静脈性嗅覚	45
D254	電気味覚検査	160080810	電気味覚	300
		160080950	味覚定量（濾紙ディスク法）	300
D255	精密眼底検査	160081010	精密眼底（片）	56
		160081130	精密眼底（両）	112
D255-2	汎網膜硝子体検査（片側）	160171110	汎網膜硝子体（片）	150
D256	眼底カメラ撮影	160081550	眼底カメラ撮影（蛍光眼底法）	400
		160199310	眼底カメラ撮影（自発蛍光撮影法）	510
		160203710	眼底カメラ（アナログ撮影）	54
		160203810	眼底カメラ（デジタル撮影）	58
D256-2	眼底三次元画像解析	160183310	眼底三次元画像解析	200
D256-3	光干渉断層血管撮影	160213310	光干渉断層血管撮影	400
D257	細隙燈顕微鏡検査（前眼部及び後眼部）	160081610	スリットM（前・後眼部）	112
		160146550	スリットM（前・後眼部）後生体染色使用再検査	48
D258	網膜電位図（E R G）	160081710	E R G	230
D258-2	網膜機能精密電気生理検査（多局所網膜電位図）	160187210	網膜機能精密電気生理検査（多局所網膜電位図）	500
D259	精密視野検査	160081810	精密視野（片）	38
		160081930	精密視野（両）	76
D260	量的視野検査	160082010	動的量的視野（片）	195
		160082130	動的量的視野（両）	390
		160082210	静的量的視野（片）	290
D261	屈折検査	160082530	屈折（薬剤使用前後）（6歳未満）	138
		160207910	屈折（6歳未満）	69
		160208010	屈折（1以外）	69
		160213430	屈折（薬剤使用前後）（1以外）	138
D262	調節検査	160082610	調節	70

		160082730	負荷調節	140
D263	矯正視力検査	160082810	矯正視力（眼鏡処方箋の交付）	69
		160179110	矯正視力（1以外）	69
D263-2	コントラスト感度検査	160213510	コントラスト感度検査	207
D264	精密眼圧測定	160082910	精密眼圧	82
D265	角膜曲率半径計測	160083150	角膜曲率	84
D265-2	角膜形状解析検査	160171210	角膜形状解析	105
D266	光覚検査	160083210	光覚	42
D267	色覚検査	160083450	色覚検査（アノマロスコープ）	70
		160083550	色覚検査（色相配列検査）	70
		160083650	ランターンテスト	48
		160083750	定量的色盲表	48
		160161810	色覚検査（1以外）	48
D268	眼筋機能精密検査及び輻輳検査	160083810	精密眼筋及び輻輳	48
D269	眼球突出度測定	160083950	眼球突出度	38
D269-2	光学的眼軸長測定	160187310	光学的眼軸長	150
D270-2	ロービジョン検査判断料	160199510	ロービジョン検査判断料	250
D271	角膜知覚計検査	160084150	角膜知覚計	38
D272	両眼視機能精密検査、立体視検査、網膜対応検査	160084210	両眼視機能精密	48
		160084350	立体視	48
		160084450	網膜対応	48
D273	細隙燈顕微鏡検査（前眼部）	160084510	スリットM（前眼部）	48
		160084650	スリットM（前眼部）後生体染色使用再検査	48
D274	前房隅角検査	160084710	前房隅角	38
D274-2	前眼部三次元画像解析	160213610	前眼部三次元画像解析	265
D275	圧迫隅角検査	160084810	圧迫隅角	76
D275-2	前房水漏出検査	160213710	前房水漏出検査	149
D276	網膜中心血管圧測定	160084910	眼底血圧	42
		160085010	眼底血圧（複雑）	100
D277	涙液分泌機能検査、涙管通水・通色素検査	160085210	涙液分泌機能	38
		160085350	涙管通水・通色素	38
D277-2	涙道内視鏡検査	160213810	涙道内視鏡検査	640
D278	眼球電位図（EOG）	160119610	EOG	260
D279	角膜内皮細胞顕微鏡検査	160148310	角膜内皮細胞顕微鏡	160

D280	レーザー前房蛋白細胞数検査	160143050	レーザー前房蛋白細胞数	160
D281	瞳孔機能検査	160150750	瞳孔機能（電子瞳孔計）	160
D282	中心フリッカー試験	160156210	中心フリッカー	38
D282-2	行動観察による視力検査	160160610	P L 法	100
		160199610	乳幼児視力測定（テラカード）	60
D282-3	コンタクトレンズ検査料	160208110	コンタクトレンズ検査料 1	200
		160208210	コンタクトレンズ検査料 2	180
		160208310	コンタクトレンズ検査料 3	56
		160208410	コンタクトレンズ検査料 4	50
D282-4	ダーモスコピー	160179610	ダーモスコピー	72
D283	発達及び知能検査	160085410	発達及び知能	80
		160085510	発達及び知能（複雑）	280
		160199710	発達及び知能（極複雑）	450
D284	人格検査	160085610	人格	80
		160085710	人格（複雑）	280
		160085810	人格（極複雑）	450
D285	認知機能検査その他の心理検査	160085910	認知機能検査心理	80
		160086010	認知機能検査心理（複雑）	280
		160086110	認知機能検査心理（極複雑）	450
D286	肝及び腎のクリアランステスト	160086210	肝クリアランステスト	150
		160086310	腎クリアランステスト	150
D286-2	イヌリンクリアランス測定	160199810	イヌリンクリアランス	1,280
D287	内分泌負荷試験	160086710	下垂体後葉負荷	1,200
		160086810	甲状腺負荷	1,200
		160086910	副甲状腺負荷	1,200
		160087110	性腺負荷	1,200
		160119710	下垂体前葉負荷（G H）	1,200
		160119810	下垂体前葉負荷（L H及びF S H）	1,600
		160119910	下垂体前葉負荷（T S H）	1,200
		160120010	下垂体前葉負荷（P R L）	1,200
		160120110	下垂体前葉負荷（A C T H）	1,200
		160120210	副腎皮質負荷鉱質コルチコイド	1,200
		160120310	副腎皮質負荷糖質コルチコイド	1,200
D288	糖負荷試験	160087210	常用負荷	200
		160087310	耐糖能精密	900

		160087450	乳糖服用耐糖（常用負荷）	200
		160087550	乳糖服用耐糖（耐糖能精密）	900
		160087650	ブドウ糖等負荷血糖値等経時検査（常用負荷）	200
		160087750	ブドウ糖等負荷血糖値等経時検査（耐糖能精密）	900
		160179710	グルカゴン負荷	900
D289	その他の機能テスト	160088010	胃液分泌刺激テスト	700
		160088310	脾機能テスト	100
		160088410	肝機能テスト（ICG 1回・2回法）	100
		160088750	ビリルビン負荷	100
		160088850	馬尿酸合成	100
		160088950	フィッシュバーグ	100
		160089050	水利尿	100
		160089150	アジスカウント	100
		160089450	ヨードカリ	100
		160144810	肝機能テスト（BSP 2回法）	100
		160160710	セクレチン試験	3,000
		160204550	インジゴカルミン使用（EF-膀胱尿道又は膀胱尿道鏡検査）	100
D290	卵管通気・通水・通色素検査、ルビンテスト	160089610	卵管通気・通水・通色素	100
		160089750	ルビンテスト	100
D290-2	尿失禁定量テスト（パッドテスト）	160183410	パッドテスト	100
D291	皮内反応検査、ヒナルゴンテスト、鼻アレルギー誘発試験、過敏性転嫁検査、薬物光線貼布試験、最小紅斑量（MED）測定	160089810	皮内反応（21箇所以内）	16
		160089950	ヒナルゴンテスト（21箇所以内）	16
		160090050	鼻アレルギー誘発試験（21箇所以内）	16
		160090250	過敏性転嫁（21箇所以内）	16
		160090350	薬物光線貼布（21箇所以内）	16
		160090450	MED（21箇所以内）	16
		160179810	皮内反応（22箇所以上）	350
		160179910	ヒナルゴンテスト（22箇所以上）	350
		160180210	薬物光線貼布（22箇所以上）	350
		160180310	MED（22箇所以上）	350
D291-2	小児食物アレルギー負荷検査	160180410	小児食物アレルギー負荷検査	1,000

D292	体外からの計測によらない諸検査	160090510	循環血液量（R I）	480
		160090710	血球量（R I）	800
		160090810	吸収機能（R I）	1,550
		160091010	造血機能（R I）	2,600
		160091110	血小板寿命（R I）	2,600
D293	シンチグラム	160091210	甲状腺ラジオアイソトープ摂取率（R I）	365
		160091510	レノグラム（R I）	575
		160091610	ヘパトグラム（R I）	575
D294	ラジオアイソトープ検査判断料	160147910	ラジオアイソトープ検査判断料	110
D295	関節鏡検査	160092050	内視鏡写真診断（他医撮影）	70
		160092110	関節鏡（片）	720
		160160830	関節鏡（両）	1,440
D296	喉頭直達鏡検査	160092210	喉頭直達鏡	190
D296-2	鼻咽腔直達鏡検査	160096450	鼻咽腔直達鏡	220
D298	嗅裂部・鼻咽腔・副鼻腔入口部ファイバースコープ	160092310	E F - 嗅裂・鼻咽腔・副鼻腔	600
D298-2	内視鏡下嚥下機能検査	160187510	内視鏡下嚥下機能	720
D299	喉頭ファイバースコープ	160092410	E F - 喉頭	600
D300	中耳ファイバースコープ	160092510	E F - 中耳	240
D300-2	顎関節鏡検査	160160910	顎関節鏡（片）	1,000
		160161030	顎関節鏡（両）	2,000
D302	気管支ファイバースコープ	160092810	E F - 気管支	2,500
D302-2	気管支カテーテル気管支肺胞洗浄法検査	160213910	気管支カテーテル気管支肺胞洗浄法検査	320
D303	胸腔鏡検査	160093010	胸腔鏡	7,200
D304	縦隔鏡検査	160093150	縦隔鏡	7,000
D306	食道ファイバースコープ	160093410	E F - 食道	800
D308	胃・十二指腸ファイバースコープ	160093810	E F - 胃・十二指腸	1,140
D309	胆道ファイバースコープ	160094010	E F - 胆道	4,000
D310	小腸内視鏡検査	160094110	小腸内視鏡検査（その他）	1,700
		160183510	小腸内視鏡検査（シングルバルーン内視鏡）	5,000
		160183610	小腸内視鏡検査（カプセル型内視鏡）	1,700
		160204310	小腸内視鏡検査（ダブルバルーン内視鏡）	7,800
D310-2	消化管通過性検査	160200950	消化管通過性検査	600
D311	直腸鏡検査	160094210	直腸鏡	300
		160094330	コロンブラッシュ法（沈渣塗抹染色細胞診断法）	490

		160094430	コロンブラッシュ法（組織切片標本検鏡法）	1,160
D311-2	肛門鏡検査	160183710	肛門鏡	200
D312	直腸ファイバースコープ	160094610	E F - 直腸	550
D313	大腸内視鏡検査	160094710	大腸内視鏡検査（ファイバースコープ・S状結腸）	900
		160094810	大腸内視鏡検査（ファイバースコープ・下行結腸及び横行結腸）	1,350
		160094910	大腸内視鏡検査（ファイバースコープ・上行結腸及び盲腸）	1,550
		160202750	大腸内視鏡検査（カプセル型内視鏡）	1,550
D314	腹腔鏡検査	160095010	腹腔鏡	2,160
D315	腹腔ファイバースコープ	160095110	E F - 腹腔	2,160
D316	クルドスコープ	160095210	クルドスコープ	400
D317	膀胱尿道ファイバースコープ	160095310	E F - 膀胱尿道	950
D317-2	膀胱尿道鏡検査	160187710	膀胱尿道鏡	890
D318	尿管カテーテル法（ファイバースコープによるもの）	160095410	尿管カテーテル法（ファイバースコープ）	1,200
D319	腎盂尿管ファイバースコープ	160156310	E F - 腎盂尿管（片）	1,800
		160156330	E F - 腎盂尿管（両）	3,600
D320	ヒステロスコープ	160095510	ヒステロスコープ	220
D321	コルポスコープ	160095610	コルポスコープ	210
D322	子宮ファイバースコープ	160148110	E F - 子宮	800
D323	乳管鏡検査	160161310	乳管鏡	960
D324	血管内視鏡検査	160171310	血管内視鏡	2,040
D325	肺臓カテーテル法、肝臓カテーテル法、脾臓カテーテル法	160065950	肝臓カテーテル法	3,600
D400	血液採取	160095710	B - V	30
		160095810	B - C	6
D401	脳室穿刺	160096010	脳室穿刺（検査）	500
D402	後頭下穿刺	160096210	後頭下穿刺（検査）	300
D403	腰椎穿刺、胸椎穿刺、頸椎穿刺	160096610	腰椎穿刺（脳脊髄圧測定を含む）	220
		160146750	胸椎穿刺（脳脊髄圧測定を含む）	220
		160146850	頸椎穿刺（脳脊髄圧測定を含む）	220
D404	骨髄穿刺	160096810	骨髄穿刺（胸骨）（検査）	260
		160096910	骨髄穿刺（その他）（検査）	280
D404-2	骨髄生検	160187810	骨髄生検	730

D405	関節穿刺（片側）	160097010	関節穿刺（片）（検査）	100
D406	上顎洞穿刺（片側）	160097110	上顎洞穿刺（片）（検査）	60
D406-2	扁桃周囲炎又は扁桃周囲膿瘍における試験 穿刺（片側）	160097450	扁桃周囲炎試験穿刺（片）	180
		160097550	扁桃周囲膿瘍試験穿刺（片）	180
D407	腎嚢胞又は水腎症穿刺	160123010	腎嚢胞穿刺（検査）	240
		160123110	水腎症穿刺（検査）	240
D408	ダグラス窩穿刺	160097810	ダグラス窩穿刺（検査）	240
D409	リンパ節等穿刺又は針生検	160097910	リンパ節等穿刺又は針生検	200
D409-2	センチネルリンパ節生検（片側）	160188010	センチネルリンパ節生検（片）（併用法）	5,000
		160188110	センチネルリンパ節生検（片）（単独法）	3,000
D410	乳腺穿刺又は針生検（片側）	160120410	乳腺穿刺又は針生検（片）（その他）	200
		160199910	乳腺穿刺又は針生検（片）（生検針）	650
D411	甲状腺穿刺又は針生検	160120510	甲状腺穿刺又は針生検	150
D412	経皮的針生検法	160098010	経皮的針生検法	1,600
D413	前立腺針生検法	160098110	前立腺針生検法	1,400
D414	内視鏡下生検法	160098210	内視鏡下生検法	310
D414-2	超音波内視鏡下穿刺吸引生検法	160188210	E U S - F N A	4,800
D415	経気管肺生検法	160148210	経気管肺生検法	4,800
D415-2	超音波気管支鏡下穿刺吸引生検法（E B U S - T B N A）	160200210	E B U S - T B N A	5,500
D415-3	経気管肺生検法（ナビゲーションによるもの）	160214010	経気管肺生検法（ナビゲーションによる）	5,500
D416	臓器穿刺、組織採取	160098410	臓器穿刺、組織採取（開腹）	5,550
D417	組織試験採取、切採法	160098610	組織試験採取、切採法（皮膚）	500
		160098710	組織試験採取、切採法（筋肉）	1,500
		160098810	組織試験採取、切採法（骨）	4,600
		160098910	組織試験採取、切採法（骨盤）	4,600
		160099010	組織試験採取、切採法（脊椎）	4,600
		160099110	組織試験採取、切採法（後眼部）	650
		160099210	組織試験採取、切採法（前眼部、その他）	350
		160099410	組織試験採取、切採法（耳）	400
		160099510	組織試験採取、切採法（鼻）	400
		160099610	組織試験採取、切採法（副鼻腔）	400
		160099710	組織試験採取、切採法（口腔）	400
		160099810	組織試験採取、切採法（咽頭）	650

		160099910	組織試験採取、切採法（喉頭）	650
		160100010	組織試験採取、切採法（甲状腺）	650
		160100110	組織試験採取、切採法（乳腺）	650
		160100210	組織試験採取、切採法（直腸）	650
		160100410	組織試験採取、切採法（精巣（睾丸））	400
		160100510	組織試験採取、切採法（精巣上体（副睾丸））	400
		160183810	組織試験採取、切採法（末梢神経）	1,620
		160188310	組織試験採取、切採法（心筋）	6,000
D418	子宮腔部等からの検体採取	160100710	子宮頸管粘液採取	40
		160100810	子宮腔部組織採取	200
		160100910	子宮内膜組織採取	370
D419	その他の検体採取	160101010	胃液・十二指腸液採取	210
		160101110	胸水採取	180
		160101210	B - A	50
		160145010	腹水採取	180
		160188410	前房水採取	420
		160204410	副腎静脈サンプリング	4,800
		160208510	鼻腔・咽頭拭い液採取	5
D419-2	眼内液（前房水・硝子体液）検査	160214110	眼内液（前房水・硝子体液）検査	1,000

(参考資料⑥)

臨床工学技士数の推計

医療専門職の実態把握に関する研究

臨床工学技士数推計
2021.5.19 資料⑥

臨床工学技士数の推計

2021年5月19日

奈良県立医科大学公衆衛生学講座 西岡祐一

1

必要な数値：②年度別性年齢別の死亡割合

死亡割合が一般人口と異なる場合

- 職種ごとの特殊事情を反映した年度別性年齢別の死亡割合のデータが必要

◎死亡割合が一般人口と同じと考える場合

- 過去分は該当年度の簡易生命表における性年齢別「死亡率」で代用
- 未来分は最新の生命表の性年齢別の「死亡率」が続くと仮定

4

仮定する数値（詳細はエクセル参照）

【参考】20210423医療従事者数推計.xlsx
(放射線技師の例)

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数—スライド3
- ②年度別性年齢別死亡割合—スライド4
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合—スライド5

2

必要な数値：③年度別性年齢別の臨床従事割合

免許を保有している●●●歳男性/女性の何%が臨床に従事しているか

性別	年齢	割合	性別	年齢	割合
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

5

必要な数値：①年度別性年齢別の新規免許発行者数

性別	年齢	人数	性別	年齢	人数
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

3

まとめ：推計式により臨床工学技士数の将来推計が可能に

推計に必要な数値

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数
- ②年度別性年齢別死亡割合
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合

仮定する数値によって推計値は大きく動く
なるべく現実に即した値を仮定する必要がある

将来の入学定員
男女の割合
臨床従事の割合 等

6

(参考資料⑦)

需要推計で使用した診療行為コード一覧（臨床工学技士）

分類 コード	分類名称	診療行為 コード	診療行為	点数
D306	食道ファイバースコープ	160093410	E F - 食道	800
D308	胃・十二指腸ファイバースコープ	160093810	E F - 胃・十二指腸	1,140
D309	胆道ファイバースコープ	160094010	E F - 胆道	4,000
D310	小腸内視鏡検査	160094110	小腸内視鏡検査（その他）	1,700
		160183510	小腸内視鏡検査（シングルバルーン内視鏡）	5,000
		160183610	小腸内視鏡検査（カプセル型内視鏡）	1,700
		160204310	小腸内視鏡検査（ダブルバルーン内視鏡）	7,800
D310-2	消化管通過性検査	160200950	消化管通過性検査	600
D311	直腸鏡検査	160094210	直腸鏡	300
		160094330	コロンブラッシュ法（沈渣塗抹染色細胞診断法）	490
		160094430	コロンブラッシュ法（組織切片標本検鏡法）	1,160
D311-2	肛門鏡検査	160183710	肛門鏡	200
D312	直腸ファイバースコープ	160094610	E F - 直腸	550
D313	大腸内視鏡検査	160094710	大腸内視鏡検査（ファイバースコープ・S状結腸）	900
		160094810	大腸内視鏡検査（ファイバースコープ・下行結腸及び横行結腸）	1,350
		160094910	大腸内視鏡検査（ファイバースコープ・上行結腸及び盲腸）	1,550
		160202750	大腸内視鏡検査（カプセル型内視鏡）	1,550
D314	腹腔鏡検査	160095010	腹腔鏡	2,160
D315	腹腔ファイバースコープ	160095110	E F - 腹腔	2,160

(参考資料⑧)

言語聴覚士数の推計

医療専門職の実態把握に関する研究

奈良県立医科大学公衆衛生学講座
言語聴覚士数推計
2021.5.18 資料3

言語聴覚士数の推計

2021年5月18日

奈良県立医科大学公衆衛生学講座 西岡祐一

1

必要な数値：②年度別性年齢別の死亡割合

死亡割合が一般人口と異なる場合

- 職種ごとの特殊事情を反映した年度別性年齢別の死亡割合のデータが必要

◎死亡割合が一般人口と同じと考える場合

- 過去分は該当年度の簡易生命表における性別年齢別「死亡率」で代用
- 未来分は最新の生命表の性別年齢別の「死亡率」が続くと仮定

4

仮定する数値（詳細はエクセル参照）

【参考】20210423医療従事者数推計.xlsx
(放射線技師の例)

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数—スライド3
- ②年度別性年齢別死亡割合—スライド4
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合—スライド5

2

必要な数値：③年度別性年齢別の臨床従事割合

免許を保有している●●歳男性/女性の何%が臨床に従事しているか

性別	年齢	割合	性別	年齢	割合
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

5

必要な数値：①年度別性年齢別の新規免許発行者数

性別	年齢	人数	性別	年齢	人数
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

3

まとめ：推計式により言語聴覚士数の将来推計が可能に

推計に必要な数値

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数
- ②年度別性年齢別死亡割合
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合

仮定する数値によって推計値は大きく動く
なるべく現実に即した値を仮定する必要がある

将来の入学定員
男女の割合
臨床従事の割合 等

6

(参考資料⑨)

需要推計で使用した診療行為コード一覧（言語聴覚士）

分類 コード	分類名称	診療行為 コード	診療行為	点数
D236	脳誘発電位検査	160076110	体性感覚誘発電位	804
		160076210	視覚誘発電位	804
		160076310	聴性誘発	804
		160076450	脳波聴力	804
		160076550	脳幹反応聴力	804
		160076650	中間潜時反応聴力	804
		160187110	聴性定常反応	960
D236-2	光トポグラフィー	160174010	光トポグラフィー（脳外科手術前検査）	670
		160203410	光トポグラフィー（抑うつ症状の鑑別診断）（精神保健指定医）	400
		160203510	光トポグラフィー（抑うつ症状の鑑別診断）（イ以外の場合）	200
D236-3	脳磁図	160175810	脳磁図	5,100
D239	筋電図検査	160076710	筋電図（1肢につき）	300
		160076810	誘発筋電図	200
		160166510	筋電図（1筋につき）	300
		160174110	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図	800
D239-2	電流知覚閾値測定	160165110	電流知覚閾値測定	200
D239-3	神経学的検査	160183210	神経学的検査	500
D239-4	全身温熱発汗試験	160203610	全身温熱発汗試験	600
D239-5	精密知覚機能検査	160207810	精密知覚機能検査	280
D244	自覚的聴力検査	160078010	標準純音聴力	350
		160078210	後迷路機能	400
		160078310	内耳機能	400
		160078410	中耳機能	150
		160078650	ことばのききとり	350
		160078750	自記オーディオ	350
		160147810	標準語音聴力	350
		160153350	耳鳴検査	400
		160175910	簡易聴力（気導純音聴力）	110
		160176010	簡易聴力（その他）	40
D244-2	補聴器適合検査	160170710	補聴器適合検査（1回目）	1,300
		160170810	補聴器適合検査（2回目以降）	700
D247	他覚的聴力検査又は行動観察による聴力検査	160078910	鼓膜音響インピーダンス	290

		160079010	チンパノメトリー	340
		160079110	耳小骨筋反射	450
		160079210	遊戯聴力	450
		160170910	耳音響放射（O A E）検査（自発耳音響放射）	100
		160171010	耳音響放射（O A E）検査（その他）	300
D248	耳管機能測定装置を用いた耳管機能測定	160152250	耳管機能（耳管機能測定装置）	450
D249	蝸電図	160079310	蝸電図	750
D250	平衡機能検査	160079410	平衡機能（標準）	20
		160079610	平衡機能（温度眼振）	120
		160079710	平衡機能（視運動眼振）	120
		160079810	平衡機能（回転眼振）	120
		160079910	平衡機能（視標追跡）	120
		160080010	平衡機能（迷路瘻孔症状）	120
		160080110	E N G（その他）	260
		160155910	重心動揺計	250
		160171950	下肢加重検査	250
		160172050	フォースプレート分析	250
		160172150	動作分析検査	250
		160179010	E N G（皿電極により4誘導以上）	400
		160199110	平衡機能（赤外線C C Dカメラ等）	300
		160199210	平衡機能（その他）	140
D253	嗅覚検査	160080610	基準嗅覚	450
		160080710	静脈性嗅覚	45
D254	電気味覚検査	160080810	電気味覚	300
		160080950	味覚定量（濾紙ディスク法）	300

(参考資料⑩)

視能訓練士数の推計

医療専門職の実態把握に関する研究

医療専門職実態把握に関する研究
 ⑩ 視能訓練士
 2021.5.11 資料3

視能訓練士数の推計

2021年5月12日

奈良県立医科大学公衆衛生学講座 西岡祐一

1

必要な数値：②年度別性年齢別の死亡割合

死亡割合が一般人口と異なる場合

- 職種ごとの特殊事情を反映した年度別性年齢別の死亡割合のデータが必要

死亡割合が一般人口と同じと考える場合

- 過去分は該当年度の簡易生命表における性別年齢別「死亡率」で代用
- 未来分は最新の生命表の性別年齢別の「死亡率」が続くと仮定

4

仮定する数値（詳細はエクセル参照）

【参考】20210423医療従事者数推計.xlsx

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数—スライド3
- ②年度別性年齢別死亡割合—スライド4
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合—スライド5

2

必要な数値：③年度別性年齢別の臨床従事割合

免許を保有している●●歳男性/女性の何%が臨床に従事しているか

性別	年齢	割合	性別	年齢	割合
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

5

必要な数値：①年度別性年齢別の新規免許発行者数

性別	年齢	人数	性別	年齢	人数
男性	20歳		女性	20歳	
男性	21歳		女性	21歳	
男性	22歳		女性	22歳	
男性	23歳		女性	23歳	
男性	24歳		女性	24歳	
男性	25歳		女性	25歳	
男性	26歳		女性	26歳	
男性	27歳		女性	27歳	
男性	28歳		女性	28歳	
男性	29歳		女性	29歳	
男性	30歳		女性	30歳	

これらの情報が年度毎（過去分、未来分）に必要

3

まとめ：推計式により視能訓練士数の将来推計が可能に

推計に必要な数値

- ①年度別性年齢別の新規免許発行者数
- ②年度別性年齢別死亡割合
- ③年度別性年齢別の臨床従事割合

仮定する数値によって推計値は大きく動く
なるべく現実に即した値を仮定する必要がある

将来の入学定員
男女の割合
臨床従事者の割合 等

6

(参考資料①)

需要推計で使用した診療行為コード一覧（視能訓練士）

分類 コード	分類名称	診療行為 コード	診療行為	点数
D215	超音波検査	160072110	超音波検査（Aモード法）	150
D256	眼底カメラ撮影	160081550	眼底カメラ撮影（蛍光眼底法）	400
		160199310	眼底カメラ撮影（自発蛍光撮影法）	510
		160203710	眼底カメラ（アナログ撮影）	54
		160203810	眼底カメラ（デジタル撮影）	58
D256-2	眼底三次元画像解析	160183310	眼底三次元画像解析	200
D256-3	光干渉断層血管撮影	160213310	光干渉断層血管撮影	400
D257	細隙灯顕微鏡検査（前眼部及び後眼部）	160081610	スリットM（前・後眼部）	112
		160146550	スリットM（前・後眼部）後生体染色使用再検査	48
D258	網膜電位図（ERG）	160081710	ERG	230
D258-2	網膜機能精密電気生理検査（多局所網膜電位図）	160187210	網膜機能精密電気生理検査（多局所網膜電位図）	500
D259	精密視野検査	160081810	精密視野（片）	38
		160081930	精密視野（両）	76
D260	量的視野検査	160082010	動的量的視野（片）	195
		160082130	動的量的視野（両）	390
		160082210	静的量的視野（片）	290
D261	屈折検査	160082530	屈折（薬剤使用前後）（6歳未満）	138
		160207910	屈折（6歳未満）	69
		160208010	屈折（1以外）	69
		160213430	屈折（薬剤使用前後）（1以外）	138
D262	調節検査	160082610	調節	70
		160082730	負荷調節	140
D263	矯正視力検査	160082810	矯正視力（眼鏡処方箋の交付）	69
		160179110	矯正視力（1以外）	69
D263-2	コントラスト感度検査	160213510	コントラスト感度検査	207
D264	精密眼圧測定	160082910	精密眼圧	82
D265	角膜曲率半径計測	160083150	角膜曲率	84
D265-2	角膜形状解析検査	160171210	角膜形状解析	105
D266	光覚検査	160083210	光覚	42
D267	色覚検査	160083450	色覚検査（アノマロスコープ）	70
		160083550	色覚検査（色相配列検査）	70
		160083650	ランタンテスト	48
		160083750	定量的色盲表	48

		160161810	色覚検査（1以外）	48
D268	眼筋機能精密検査及び輻輳検査	160083810	精密眼筋及び輻輳	48
D269-2	光学的眼軸長測定	160187310	光学的眼軸長	150
D270-2	ロービジョン検査判断料	160199510	ロービジョン検査判断料	250
D272	両眼視機能精密検査、立体視検査、網膜対応検査	160084210	両眼視機能精密	48
		160084350	立体視	48
		160084450	網膜対応	48
D274-2	前眼部三次元画像解析	160213610	前眼部三次元画像解析	265
D279	角膜内皮細胞顕微鏡検査	160148310	角膜内皮細胞顕微鏡	160
D282	中心フリッカー試験	160156210	中心フリッカー	38
D282-2	行動観察による視力検査	160160610	P L 法	100
		160199610	乳幼児視力測定（テラカード）	60

IV研究発表に関する一覧表

・著書

	筆者氏名	タイトル名	出版社名	出版年
	該当なし			

・論文

	発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	頁	出版年
1	該当なし					
2						
3						

・学会発表

	発表者氏名	演題	学会名	日付	場所
1	森田雅士、西岡祐一、岡本左和子、小野孝二、今村知明	オープンデータを用いた画像検査数の将来推計—タスクシフト・シェアを見据えて	第80回日本公衆衛生学会	2021年 12月21- 23日	京王プラザホテル（WEB開催）
2	森田雅士、西岡祐一、岡本左和子、小野孝二、今村知明	レセプト情報NDBオープンデータを用いた画像検査数の将来推計	第36回日本診療放射線技師学会	2021年 11月12- 14日	東京ビックサイト
3					

厚生労働大臣 殿

機関名 東京医療保健大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 亀山 周二

次の職員の令和3年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療専門職の実態把握に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 看護学部/大学院看護学研究科・教授

(氏名・フリガナ) 小野 孝二・オノ コウジ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること(指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和4年3月15日

厚生労働大臣 殿

機関名 公立大学法人奈良県立医科大学

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 細井 裕司

次の職員の令和3年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療専門職の実態把握に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 公衆衛生学講座・教授

(氏名・フリガナ) 今村 知明・イマムラ トモアキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和4年3月15日

厚生労働大臣 殿

機関名 公立大学法人奈良県立医科大学

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 細井 裕司

次の職員の令和3年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療専門職の実態把握に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 公衆衛生学講座・講師

(氏名・フリガナ) 岡本 左和子・オカモト サワコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和4年3月15日

厚生労働大臣 殿

機関名 公立大学法人奈良県立医科大学

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 細井 裕司

次の職員の令和3年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 地域医療基盤開発推進研究事業

2. 研究課題名 医療専門職の実態把握に関する研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 公衆衛生学講座・助教

(氏名・フリガナ) 西岡 祐一・ニシオカ ユウイチ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。

・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。